Cintiq® 13HD
interactive pen display

ユーザーズガイド

Cintiq 13HD（DTK-1300）

付属品を確認する
本機のセットアップ
ペン先の位置調整
本機のカスタマイズ
電子ペンの機能
マッピング画面切り替えを使う
ファンクションキー、リングキー、ホームボタンの使い方
マルチディスプレイ環境で使う
トラブルシューティング
テクニカルサポート

製品の保証についてのお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから 1 年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収書、納品書、レシート（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収書、納品書、レシートの添付もない場合は、保証が無効になります。また、本製品の保証は、日本国内においてのみ有効です。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

商標について

Cintiq および Wacom は株式会社ワコムの登録商標です。

Adobe および Adobe Photoshop は、アドビシステムズ社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Microsoft および Windows は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

Apple、Apple ロゴ、Mac は、米国およびその他の国で登録されたアップル社の登録商標です。

その他の会社名、および製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。なお、本文中では「TM」「®」マークは表記しておりません。

著作権について

付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。

タブレットドライバ、および本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。

タブレットドライバを含む本製品の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

上記の年は、本書が作成された年を示しています。また、本製品が発売された日が、本書がユーザに公開された日です。

Cintiq 13HD

ユーザーズガイド

Version 1.0, Rev C0413

©2013 Wacom Co., Ltd. All rights reserved.

目次

目次 3
本書について 5
付属品を確認する 6
本機について 7
本機の置き場所 8
本機の角度調整 8
本機を使用する前に 9
システム要件 9
本機のセットアップ 10
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ 10
ステップ 2：タブレットドライバのインストール 13
本機の機能 14
本体正面 15
本体裏面 15
電子ペンの機能 16
本機を使用する 17
作業環境のセットアップ 17
グリップペンの使い方 19
電子ペンを手に持つ 20
ポインタの位置決め 21
クリック 21
ダブルクリック 21
ドラッグ 22
サイドスイッチを使う 22
筆圧を使って描画する 22
傾きで描画する 23
消しゴムで消す 23
ファンクションキー、リングキー、ホームボタンの使い方 24
マルチディスプレイ環境で使う 25
ディスプレイの調整 25
標準設定と色補正 25
画面の調整 25
省電力機能 27
本機のカスタマイズ 28
コントロールパネルでタブレットの設定を行う 29
設定の表示とエクスプレスビュー 29
コントロールパネルの概要 30
本機機能のカスタマイズ 32
ペン先の位置調整 33
電子ペンのカスタマイズ 34
ペン先の感触とダブルクリックの調整 35
消しゴムの感触の調整 36
ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定 36
サイドスイッチのカスタマイズ 37
傾き感度のカスタマイズ 38
ファンクションキーのカスタマイズ 39
リングキーおよびホームボタンのカスタマイズ 40
ボタンの機能 41
ラジアルメニューの使い方と設定 48
マッピング画面切り替えを使う 49
特定のソフトウェアに対する設定 50
特定のソフトウェアに対する設定を作成する 51
特定のソフトウェアに対する設定を変更する 52
特定のソフトウェアに対する設定を削除する 52
複数の入力デバイスで使う 52
タブレットリスト内のタブレット名を変更する 53
トラブルシューティング 54
本機のテスト 55
操作と入力デバイスのテスト 56
ファンクションキー、リングキー、ホームボタンのテスト 57
電子ペンのテスト 57
トラブルシューティング 59
一般的な問題 59
ペンタブレットのトラブルシューティング情報 61
Windows での問題 65
Mac での問題 66
テクニカルサポート 68
ドライバの更新 68
よくあるご質問と回答 69
お手入れのしかた 71
本機のお手入れ 71
ペン芯を交換する 72
その他のお役立ち情報 73
ドライバのアンインストール 74
タブレット設定ファイルの管理 75
複数ペンタブレットの設置 76
タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う 77
上級者向け設定を組み込む 78
Windows でのペンおよびデジタルインク機能 79

製品情報	80
製品仕様	80
サポート窓口について	81
オプション品の注文	82
用語	83
索引	85
Wacom international offices	87
お問い合わせ / 修理依頼票	88

本書について

本書は、Cintiq 13HD の使い方や機能について説明しています。本書に記載されている情報は、Windows と Mac コンピュータに共通するもので、特に指定のない限り Windows の画面を例にして説明しています。

- 目次または索引で項目をクリックすると、その項目に移動することができます。
- 本書の中を移動するには、次のボタンやテキストをクリックします。

		ホームボタン	表紙へ移動します。
目次	目次のはじめへ移動します。	前へ・次へボタン	ページ番号順に戻ったり、進んだりします。
索引	索引のはじめへ移動します。	戻るボタン	見た順に表示を戻ります。

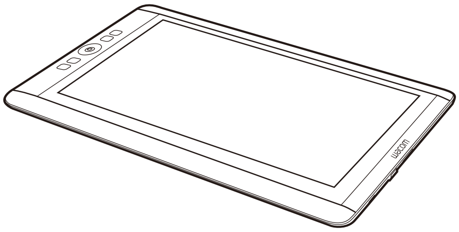
- 本書を拡大表示するには、PDF ビューアのズームインツールを使用してください。その他のツールの使用方法と本書の印刷については、ビューアアプリケーションのヘルプを参照してください。
- ダイアログボックス、コントロールパネルなどのオプションの名前は、「　」で囲んで表示しています。
- 必ずタブレットドライバ CD-ROM に収録されている本機の「製品に関する重要なお知らせ」も合わせて参照してください。このガイドには、製品の安全上のご注意、仕様、使用許諾契約が含まれています。
- 特定のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに関する情報は、本製品に付属していません。これらの情報に関しては、ご使用中のハードウェア、オペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属のマニュアルをご参照ください。

ワコムは継続的に製品の改善に取り組んでおり、随時技術的な変更や改良を行っています。そのため、タブレットドライバおよび本機の仕様、および本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。

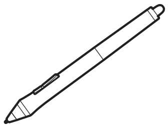
付属品を確認する

以下は本機と付属品です。丁寧に梱包を解いて、各部品がすべて揃っていることを確認してください。なお、梱包材と梱包箱は、輸送や保管のために保管しておいてください。

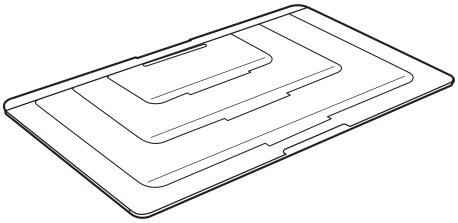
- 液晶ペンタブレット本体および付属ケーブルの梱包材を取り外します。
- 梱包を解いた後、すべての付属品を点検し、内容がすべて揃っていることを確認してください。



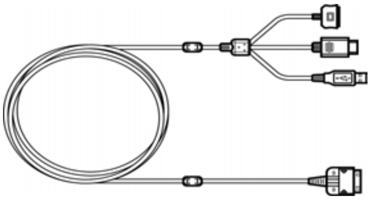
Cintiq13HD 液晶ペンタブレット本体



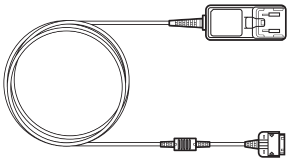
電子ペン



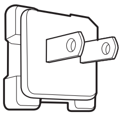
スタンド



専用接続ケーブル



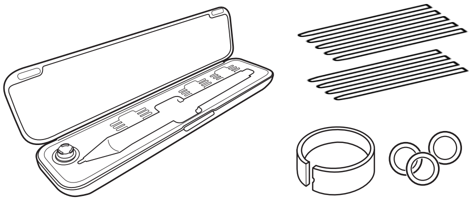
AC アダプタ



電源プラグ

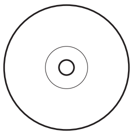
ペンスタンド

クリーニング
クロス



ペンケース、替え芯、芯抜き、
カラーペンリング

クイックスタートガイド
一部の構成では保証書も
付属します。



タブレットドライバ CD-ROM
タブレットドライバおよび
「製品に関する重要なお知らせ」
ガイドが収録されています。

補足：構成によっては上記すべての項目が含まれていない場合があります。

一部の構成ではソフトウェアのインストール用 CD または DVD が含まれている場合があります。インストールする場合は CD または DVD のマニュアルをご覧ください。

使用者がわかるようにするときは、ペンの先端を外してカラーペンリングを付け替えることができます。

本機について

Cintiq 13HD は液晶ディスプレイの利点と、ワコムのコードレスおよび電池レスの Intuos ペンテクノロジの操作性、快適性、生産性を合わせた製品です。本機を使用することで、コンピュータで電子ペンを使い画面にダイレクト入力できるようになります。

本機は、高品位なカラー液晶ディスプレイに Intuos ペンテクノロジを組み込んだ液晶ペンタブレット本体、プロペン、スタンドペンケース、ペンスタンドで構成されています。

本機はファンクションキーを左側にした右利き用、右側にした左利き用いずれかの方向で使用できます。

本書は、本機のセットアップ方法、使い方について説明するものです。電子ペンと本機の設定はコントロールパネルでカスタマイズできます。詳しくは、本機のカスタマイズをご参照ください。

補足：モデルによっては、同梱する付属品や利用可能な機能が異なる場合があります。

本機の機能
電子ペンの機能

本機の置き場所

机や作業台など水平で安定した場所に置いてください。

補足：濡れた机の上に置かないでください。
本機のディスプレイ面を下に向けて置く場合は、傷がつかないようディスプレイ面の下に柔らかくきれいな布などを敷いてください。

本機の各部の名称については本体正面および本体裏面で確認してください。

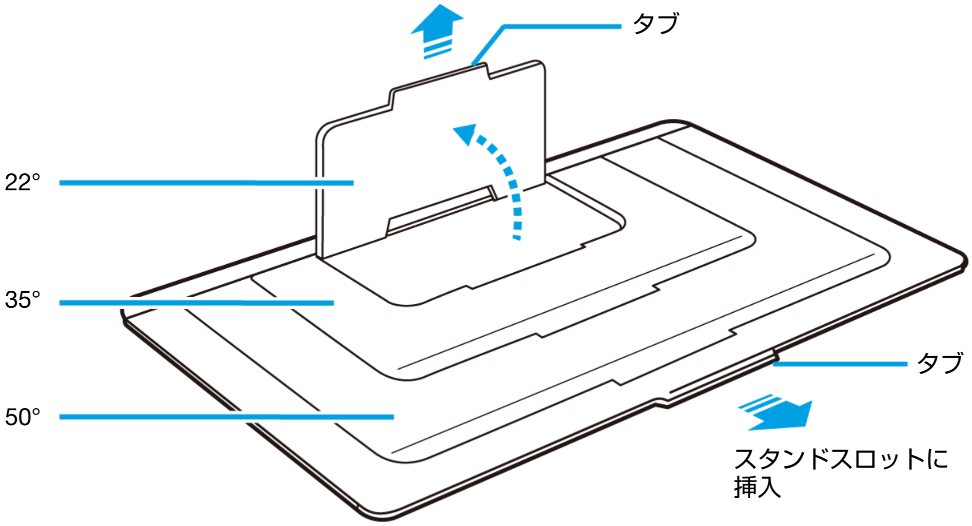
本機の角度調整

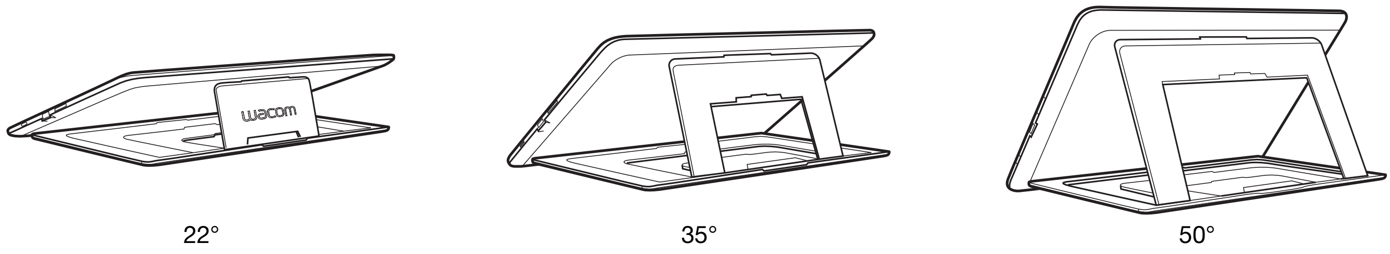
本機は使いやすい傾き角度に調整することができます。デスクの上にフラットにして使用するか、3 つの角度に調節して使用してください。

本機の傾斜角度は次の手順で行います。

- デスクの上など安定した場所に液晶ペンタブレット本体を置きます。
- スタンドと液晶ペンタブレット本体背面のスタンドのスロットを確認します。
- どの角度で使用するか決めます。
- 背面が見えるように本機を持ちます。
- スタンドのタブを本機下端のスロットにセットします。
- 任意の角度のスタンドを起こします。
- スタンドのタブをスロットに挿入できるよう液晶ペンタブレット本体をスタンドに向けて傾けます。タブは最後まで完全にスロットに挿入してください。

取り付ける前に本機についてをお読みください。





本機を使用する前に

本機は、ディスプレイとペンタブレット２つの機能を持っています。以下の手順に従って、セットアップを行ってください。

重要：必ずタブレットドライバをインストールしてください。

システム要件
本機のセットアップ
ステップ 1：ハードウェアのセットアップ
ステップ 2：タブレットドライバのインストール

システム要件

ご使用中のコンピュータが次のシステム要件を満たしていることをご確認ください。

- Windows の場合：
  - Windows 8 、7（SP1 以降）、Vista（SP2）、XP（SP3）（64 ビット版を含む）
  - HDMI ポート
  - USB ポート
  - CD-ROM ドライブ
  - インターネット接続
- Mac の場合：
  - Mac OS X v10.6.8 以降
  - USB ポート
  - CD-ROM ドライブ
  - HDMI ポート
  - インターネット接続

本機をコンピュータと電源に接続するための専用接続ケーブルと AC アダプタは付属しています。

補足：コンピュータの DVI ポート、DisplayPort ポート、Thunderbolt ポートに接続する場合は HDMI 変換アダプタが必要になります。

本機のセットアップ

ステップ 1：ハードウェアのセットアップ

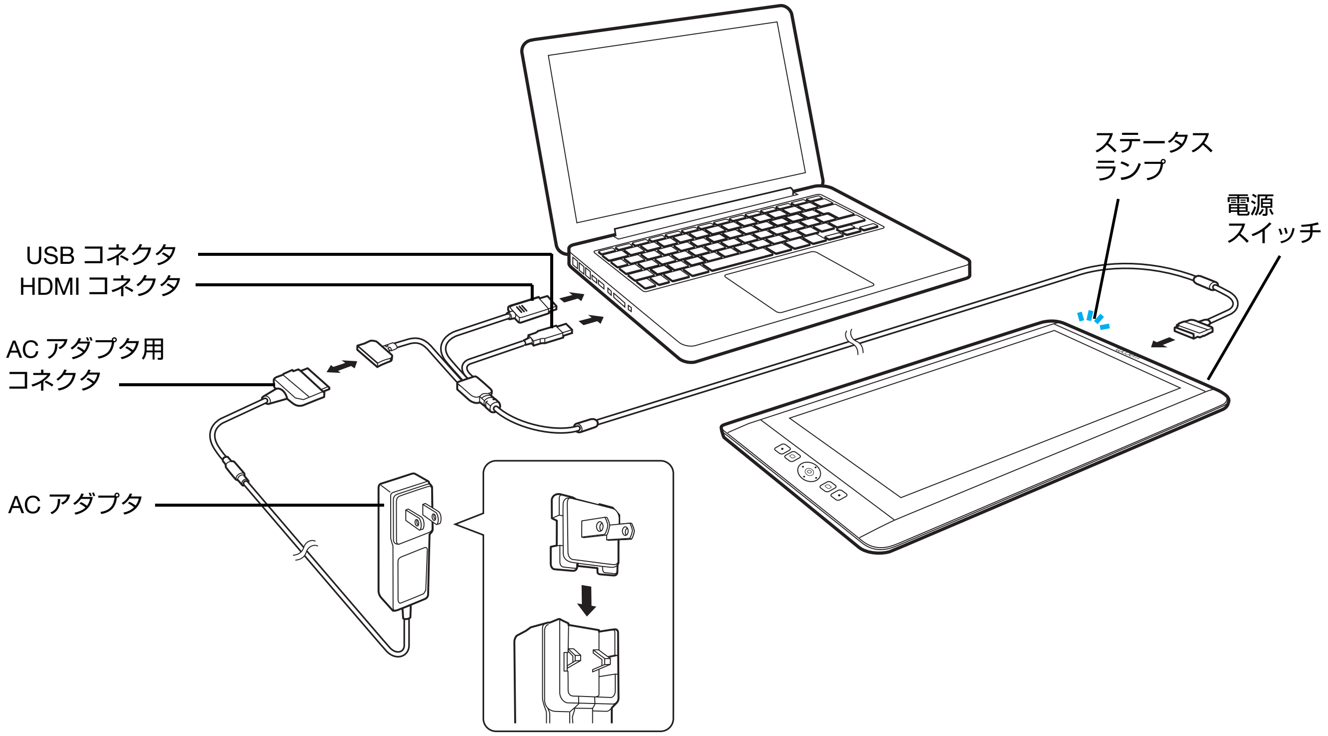
このステップでは、専用接続ケーブル、AC アダプタの接続について説明します。

重要：絶対にご使用のコンピュータまたは本機の電源が入っている状態で専用接続ケーブル（USB を除く）や電源ケーブルを抜き差ししないでください。本機またはコンピュータの損傷の原因となる場合があります。

1. コンピュータの電源を切ります。
2. 専用接続ケーブルの USB コネクタと HDMI コネクタを、コンピュータの USB ポートおよび HDMI ポートに接続します。
   補足：USB ハブなどは使用せずコンピュータの USB ポートに直接 USB ケーブルを接続してください。
3. 専用接続ケーブルの AC アダプタ用コネクタを AC アダプタに接続します。
4. 専用接続ケーブルのもう片方のコネクタを本機に接続します。
5. AC アダプタに電源プラグを装着します。プラグはコンセントのタイプに合った向きに装着してください。
6. AC アダプタを電源コンセントに差し込みます。
7. 電源スイッチを 3 ～ 4 秒長押しして本機の電源を入れます。

本機がビデオ信号を受け取っていれば液晶ペンタブレット本体のステータスランプが白く点灯します。ペンで液晶ペンタブレット本体の画面にタッチすると、白い光が強くなります。本機をコンピュータに接続してもビデオ信号が入力されていない場合は、ステータスランプが白く点滅します。

本機の接続図



注意
本機には必ず付属の AC アダプタを使用してください。本機に付属以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあります。

8. コンピュータの電源をオンにします。
9. 必要に応じてコントロールパネルのディスプレイの設定で、適切な解像度に設定します。
   最適な状態にするには、表示解像度を 1920×1080 に設定します。本機で使用できる表示解像度の詳細については、タブレットドライバ CD-ROM に収録されている「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。表示解像度は、コンピュータおよびグラフィックボードの性能により制約を受ける場合があります。
10. 本機の画面微調整を行う場合はディスプレイの調整を参照してください。

   Windows の場合：本機をセカンドディスプレイとして使用する場合は、最初にコントロールパネルから本機の接続を有効にする設定が必要な場合があります。

ハードウェアのセットアップが完了したら、ステップ 2：タブレットドライバのインストールに進みます。

補足： 液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠点や常時点灯の画素がある場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。詳細については、「製品に関する重要なお知らせ」をご覧ください。

画像に微細ストライプ（画面の縞模様など）がある場合、ちらつきまたはモアレのように見えることがあります。

画面に過度の圧力を加えないでください。モアレまたは波紋のような模様が現れる原因になることがあります。

同じ画面を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーを使用することで、残像の発生を軽減させることができます。

本機のバックライトをより長くご使用いただくため、長時間画面を使用しないときは電源を切るようにコンピュータの電源オプションを設定してください。

長時間本機を使用される際は、画面の明るさを変えることで目の疲労を軽減することができます。また、バックライトの寿命を延ばしディスプレイの表面温度を抑える効果もあります。

トラブルに関するヒントは、トラブルシューティングを参照してください。

ステップ 2：タブレットドライバのインストール

重要：画面上で電子ペンによる操作を正常に行うためには、付属のタブレットドライバをインストールする必要があります。
すでに Intuos シリーズまたは Cintiq シリーズのタブレットドライバをインストールしている場合は、そのドライバをアンインストールしてください。

1. 作業を保存し、開いているソフトウェアをすべて閉じます。
2. タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。インストールメニューが表示されます。インストールメニューが自動的に表示されない場合は、CD を開き「インストール」アイコンまたは「起動」アイコンをダブルクリックします。
   補足 :ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。
3. 「タブレットのインストール」をクリックし、画面の指示に従ってタブレットドライバをインストールします。
4. タブレットドライバのインストール完了後、電子ペンを画面にタッチしてポインタが動くことを確認してください。

   ペン先を画面上に置くと、ポインタは直ちにペン先のほぼ下の位置に飛びます。ペン先を持ち上げ、画面上の異なる位置に置くと、ポインタは再び新しい位置に飛びます。ディスプレイ画面上でポインタをドラッグしなくてもポインタを操作できます。

   補足：タブレットドライバ CD-ROM に収録されている「製品に関する重要なお知らせ」で注意・警告情報を確認してください。タブレットドライバのインストール中に不具合が起こった場合はトラブルシューティングを参照してください。
5. 次に、ポインタとペン先を正確にあわせます。ペン先の位置調整を参照してください。.

補足： タブレットドライバのインストールが正常に行えない場合、ネットワークを切断し、ウィルス監視プログラムを一時的に OFF にして試してください。ドライバのインストールが完了しましたら、必ずウィルス監視プログラムを ON にしてください。

タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ログイン後にコントロールパネルから個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると（ログオンまたはクイックユーザ切り替え）、新しいユーザの設定に切り替わります。

本機が正しく動作しない、またはポインタをコントロールできなくなった場合、本機の環境設定に異常が生じたおそれがあります。現在の環境設定を削除し、本機をお買い上げ時設定の状態に戻す場合はタブレット設定ファイルの管理を参照してください。

Microsoft Windows 8、Windows 7、Vista （Windows 7 Starter 、Home Basic および Windows Vista Home Basic を除く）においては、タブレットドライバをインストールすると自動的にペン入力機能が利用できるようになります。Windows でのペンおよびデジタルインク機能を参照してください。

ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードする場合はドライバの更新を参照してください。

タブレットドライバをアンインストールする場合はドライバのアンインストールを参照してください。

本機の機能

本機の各部の名称と機能について説明します。

ファンクションキー、リングキー、ホームボタン、電子ペンの設定、調整、マッピング画面切り替えなどの機能をカスタマイズするにはコントロールパネルを使用してください。本機のカスタマイズを参照してください。

本機は、グラフィックソフトウェアなどにおけるワークフローを向上させるためのファンクションキーとリングキーを備えています。利き手で電子ペンを使いながら、もう片方の手でファンクションキーとリングキー、ホームボタンを操作することが可能です。これらの機能はカスタマイズ可能ですので、よく使用する機能やキーストロークの設定や、ボタンクリックや修飾キーとして使用することができます。詳しくは、ファンクションキーの使い方を参照してください。

マッピング画面切り替え機能では、本機とコンピュータ間でポインタを切り替えることができます。液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは Intuos のようなペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上）に切り替えることができます。

- 筆圧、傾き、回転などのタブレット機能は、多くのソフトウェアでサポートされています。機能をサポートするソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。
- 特定のソフトウェアでタブレットの機能を最大限に活用する方法に関する情報は、そのソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

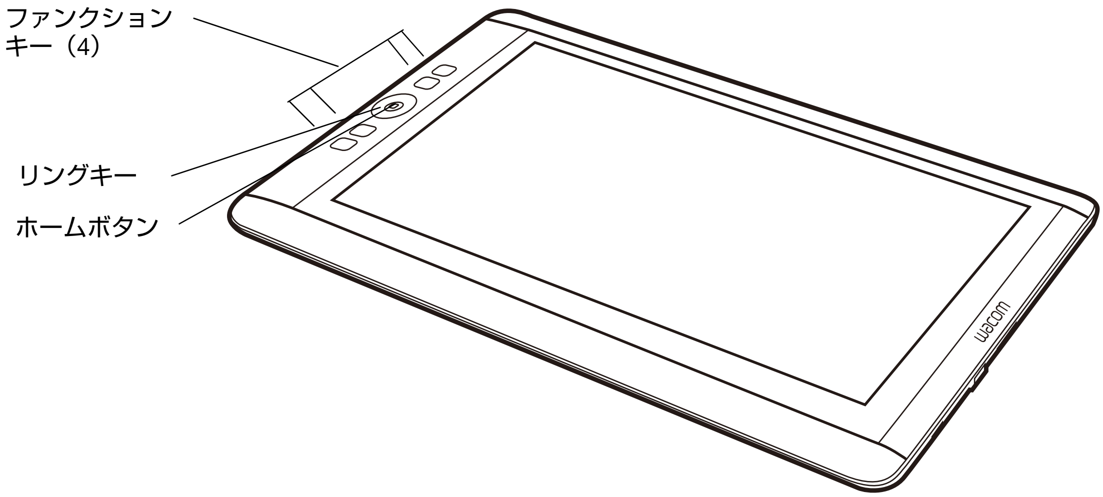
コントロールパネルでタブレットの設定を行う
コントロールパネルの概要
ファンクションキーのカスタマイズ

本体正面

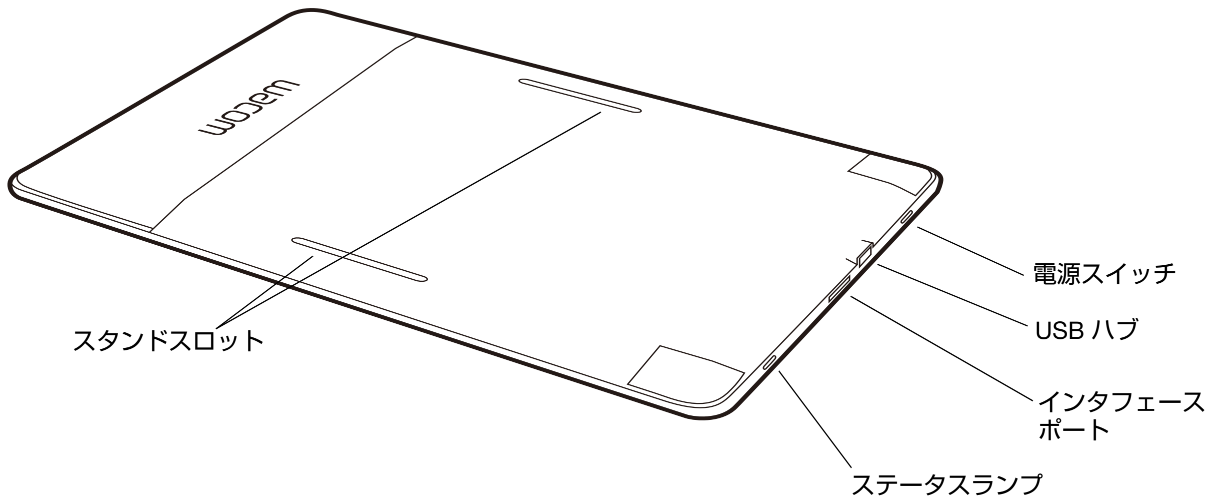
本機は以下の機能を備えています。ファンクションキー、リングキー、ホームボタンの使い方の説明と標準ファンクションキー機能一覧表を参照してください。

本機は横表示モードで使用します。ファンクションキーは左右いずれかで使用するよう設定できますので、画面の方向を利き手に応じて設定してください。グリップペンの使い方を参照してください。

電子ペンを使用しないときは、付属のペンスタンドに立てるか、机の上に横にして置いておくか、ペンケースに入れておいてください。

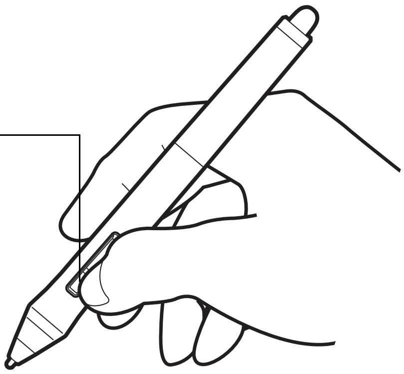


本体裏面



電子ペンの機能

電子ペンはコードレスおよび電池レスで、筆圧機能に対応しています。
基本的な機能は、ポインタの移動、クリック、ダブルクリック、ドラックの 4 つです。電子ペンの使い方の詳細はグリップペンの使い方をご参照ください。



消しゴム：電子ペンを逆に持ち、画面にテールスイッチ（消しゴム）を近づけると、操作エリアがテールスイッチの位置を認識します。テールスイッチが画面に触れると、筆圧が感知されます。標準設定では、この機能は「消しゴム」に設定されています。消しゴム機能は、対応しているソフトウェアでのみお使いになれます。

サイドスイッチ：標準の電子ペンにはサイドスイッチが装備されています。サイドスイッチは上下２つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。

ペン先が画面に触れていなくてもサイドスイッチは使用できます。標準設定では、上側は「ダブルクリック」下側は「右ボタンクリック」に設定されています。

お知らせ　誤ってサイドスイッチを押さないように持ってください。

ペン先 （交換可能）：画面にペン先を近づけると、操作エリアがペン先を認識します。これにより、ペン先で画面に触れずにポインタの位置決めができます。

画面に触れると、電子ペンはマウスの左ボタンクリックと同じ働きをします。ペン先のクリック圧は、コントロールパネルで調整できます。

ヒント：

- ペン先が認識される距離は画面から 5 mm 以内です。
- オートスリープモードから操作を再開する場合は、ペン先を画面に近づけるか画面に当ててください。

重要：

- 本機に付属の電子ペンまたは本機に対応したワコム指定ペンのみをご使用ください。その他の電子ペンは正しく機能しないことがあります。また、電子ペンの芯は本機の画面専用に設計されています。その他の芯を使用するとペン先で画面を破損させてしまうおそれがありますので、使用しないでください。
- 電子ペンを使用していないときは、専用のペンケースまたはペンスタンドに立てるか、または机の上に横にして置いてください。ペン先の感度を維持するため、ペン先や消しゴムが押された状態で保管しないでください。電子ペンが故障するおそれがあります。

本機を使用する

本機は幅広い柔軟性と人間工学に基づいて設計されており、必要に応じて液晶ペンタブレット本体を使いやすい傾き角度に調整することが可能です。本機の角度調整をして、自分の作業姿勢に最適なポジションを探してみてください。

本機を使用するときは、紙に書くときと同じように電子ペンを持ち、軽く手を画面上に載せます。

作業環境のセットアップ
グリップペンの使い方
コントロールパネルでタブレットの設定を行う
マルチディスプレイ環境で使う
ディスプレイの調整

作業環境のセットアップ

疲労を軽減させるため、作業環境を整えて楽に作業ができるようにしてください。本機、電子ペン、キーボードは手の届きやすい場所に配置してください。目を疲れさせずに、楽に見ることができるような場所に本機やその他のディスプレイを置いてください。

- 利き手に合わせた本機のセットアップがまだの場合は、設定を行ってください。グリップペンの使い方を参照してください。
- キーボードで作業する場合は、デスク面の少し下の調整式キーボードトレイにキーボードを配置してみます。
- 常に正しい姿勢を保ちます。

- 定期的にコンピュータから目線を外して別のものを見るようにしてください。目の疲れが軽減されます。作業の合間に休憩を取り、コンピュータ画面から目を離して室内の他のものを眺めたり、窓から外の風景を眺めるなど、両目を休ませるようにしてください。
- 電子ペンを持つときは、なるべく力を抜いて持ちます。作業の合間に短い休憩をはさみ、ストレッチをして筋肉をほぐすようにしてください。
- 長時間同じ作業をしないようにしてください。不自然な姿勢や、反復動作を控えてください。
- 不快感があるときは、姿勢を変えてください。
- 本章をよく読んで本機の使用方法を確認してください。
- 本機をコンピュータから離しすぎるなどして、コンピュータへの配線を引っ張らないようにしてください。

RSI に関する補足：ワコムは、ワコム製品がマウスによる反復性ストレスの症状、傷害、状態を治癒または予防する効果があるということを一切宣言、約束、保証しておりません。効果には個人差があります。特定の症状に対する最適な処置については、必ず専門の医師のアドバイスを受けてください。

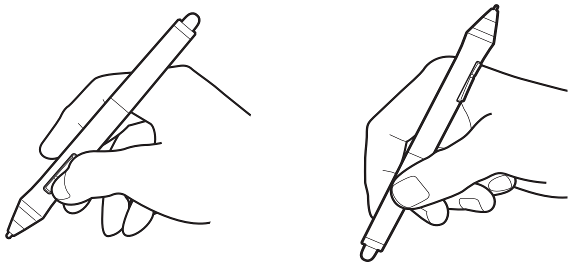
グリップペンの使い方

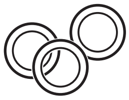
電子ペンはコードレス、電池レスです。また、ペン先にかかる筆圧や傾きを感知し、ポイント、クリック、ダブルクリック、ドラッグという 4 つの基本操作で使用します。詳細は以下のページを参照してください。

電子ペンを手に持つ
ポインタの位置決め
クリック
ダブルクリック
ドラッグ
サイドスイッチを使う
筆圧を使って描画する
傾きで描画する
消しゴムで消す

電子ペンを手に持つ

鉛筆やボールペンと同じように持ち、サイドスイッチが親指か人差し指で操作しやすい位置になるように持つ位置を調整してください。ただし電子ペン使用時に誤ってサイドスイッチを押してしまわないような位置にします。ペンは持ちやすい角度で持ってください。本機を使用するときは、軽く手を画面上に載せます。



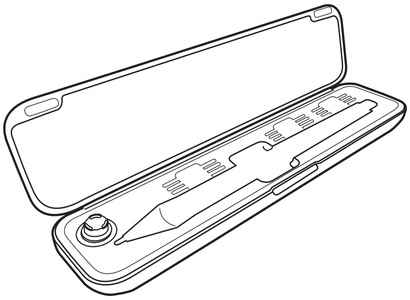


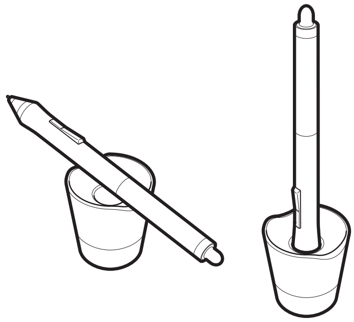
カラーペンリング

複数の電子ペンを使用していて、それぞれの電子ペンの識別をしたい場合には、ペンの先端を緩めて外し、別の色のカラーペンリング（非売品）と交換してください。

電子ペン設定はいつでも[カスタマイズ](#)できます。

電子ペンは使用するときに使いやすい位置に置いてください。使用しないときは、専用のペンケースまたはペンスタンドに立てるか、または机の上に横にして置いてください。ペンスタンドには、電子ペンを垂直または水平に置くことができます。



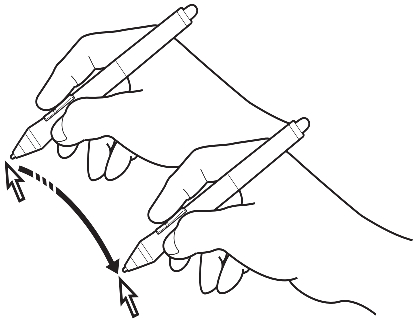


重要：電子ペンの感度を維持するため、ペン先やテールスイッチが押された状態で保管しないでください。電子ペンが故障するおそれがあります。

ポインタの位置決め

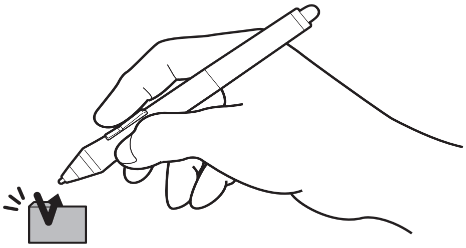
画面上でポインタの位置を決めるときは、画面に触れずにペンを画面の少し上で動かします。するとペン先に合わせてポインタが移動します。続いてペン先で画面にタッチして選択します。

補足： ペン先の位置調整をすると、ポインタの位置を正確にペン先と合わせることができます。ペン先を画面に置いてもポインタがペン先の近くに移動しない場合には、タブレットドライバがインストールされていないか、起動していない、もしくはペン先とポインタの位置調整を行っていない可能性があります。タブレットドライバをインストールしていない場合は、必ずタブレットドライバをインストールしてください。または、トラブルシューティングを参照してください。



クリック

画面をペン先で 1 回軽くたたくか、クリックと認識されるぐらいの筆圧でペン先を画面に押し当てます。



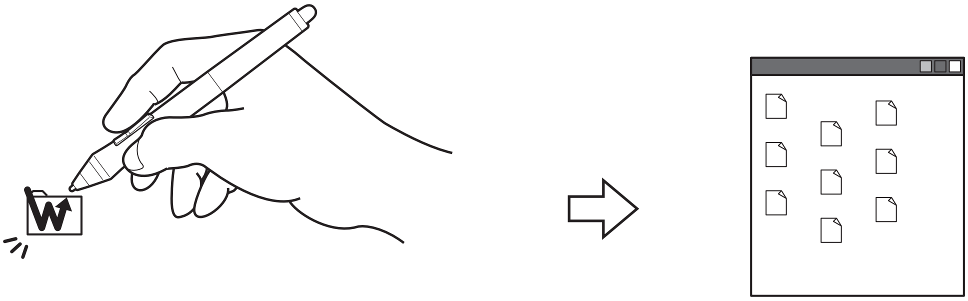
Windows の場合のヒント：電子ペンでの操作をより簡単にする設定。電子ペンをアイコン上で 1 回クリックするとアイコンが起動するように、Windows を設定できます。この機能を使うときは、まずフォルダを開き、続いて以下の設定を行ってください。

Windows 8、Windows 7、Vista の場合のヒント：「整理」プルダウンメニューから、「フォルダと検索のオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

Windows XP の場合のヒント：「ツール」プルダウンメニューから、「フォルダオプション」を選択します。「全般」タブで「ポイントして選択し、シングルクリックで開く」を選択します。

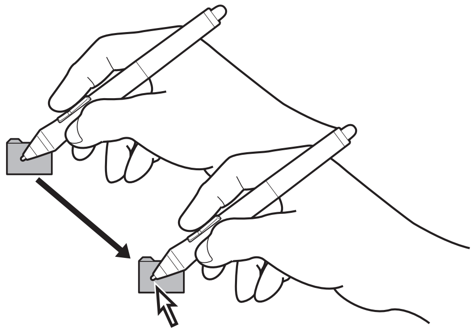
ダブルクリック

上側のサイドスイッチを押すか(「ダブルクリック」に設定されている場合)、同じ場所でディスプレイ画面をペン先で素早く 2 回、軽くたたきます。電子ペンを本機の画面に対して直角にするとダブルクリックしやすくなります。



ドラッグ

オブジェクトを電子ペンでタッチし、次にペン先を画面上でスライドさせて、オブジェクトを動かします。



サイドスイッチを使う

電子ペンにはサイドスイッチが付いています。このスイッチには、サイドスイッチは上下 2 つあり、押すことによりあらかじめ設定されている機能が働きます。このサイドスイッチは、ペン先が画面の近く（5 mm 以内）にあるときはいつでも使用できます。ペン先で画面に触れる必要はありません。標準設定では上のスイッチがダブルクリックに、下のスイッチが右クリックに設定されています。スイッチの機能はコントロールパネルでカスタマイズまたは無効にすることができます。

筆圧を使って描画する

電子ペンは手の動きに反応し、自然な感じのペンブラシのストロークを描きます。

筆圧対応のソフトウェアは、ペンに加えられた筆圧に反応します。

筆圧機能を使用するには、ペン先への筆圧を変えながらペンを画面の上で動かします。太い線や濃い色を描く場合は強く、細い線や薄い色を描く場合は弱めに筆圧をかけます。一部のソフトウェアでは、まずツールパレットから筆圧対応ツールを選択しなければならない場合があります。

ペン先の感触を調整するには、ペン先の感触とダブルクリックの調整を参照してください。

筆圧対応のソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。

傾きで描画する

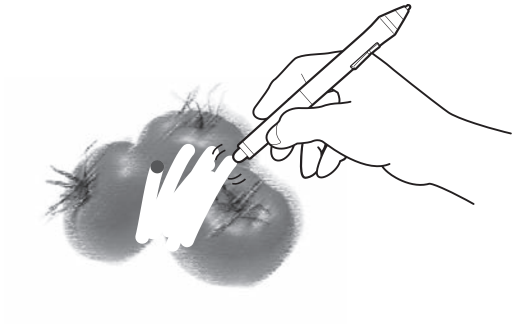
ペンを垂直状態から傾けると、本機はその動きを認識します。傾きは、対応するソフトウェアで線の形や太さを調整するために使用できます。

傾き検出対応のソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。

消しゴムで消す

消しゴム機能に対応するソフトウェアでは、電子ペンのテールスイッチは鉛筆の消しゴムのように機能します。文章作成ソフトでは、テールスイッチで文字を選び、続いて画面からペンを持ち上げて文字を消去します。

消しゴム機能をサポートするソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください（製品情報参照）。消しゴム機能をサポートしていないソフトウェアでも、テールスイッチは位置決め、描画、アノテーション（書き込み）に消しゴムを使用できます。

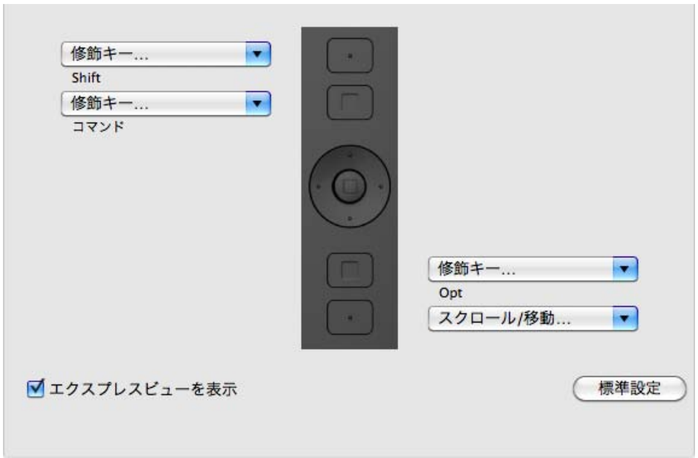


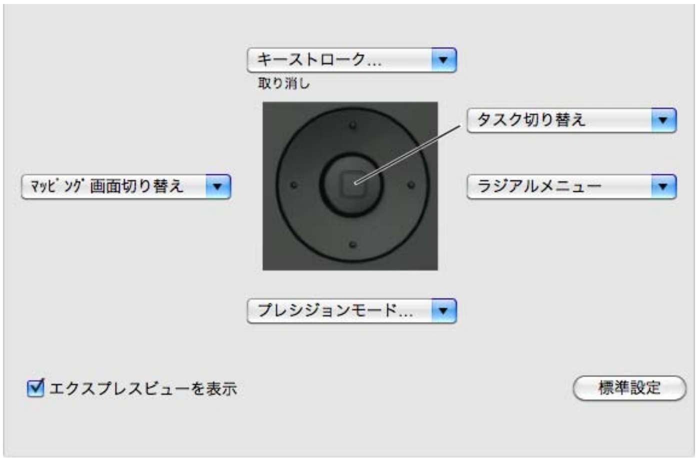
ファンクションキー、リングキー、ホームボタンの使い方

ファンクションキー、リングキー、ホームボタンは、よく使用する機能やキーストロークを割り当てて実行でき、ペンやその他の入力デバイスのプロパティを変更するために使用できます。

リングキーの 4 つの方向キー（上下左右）とホームボタンはファンクションキーのように設定して使用することができます。

以下はファンクションキー、リングキー、ホームボタンの標準設定です。





ファンクションキー、リングキー、ホームボタンは次のように使用できます。

- よく使う修飾キー、キーストローク、ショートカット、ファイル、ソフトウェアに設定する。
- 電子ペンのサイドスイッチを使用できない、または使用したくない場合にキーを右クリックまたはダブルクリックに設定しておく。
- その他の利用可能な機能から選択する。詳細についてはファンクションキーのカスタマイズを参照してください。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーやリングキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。詳細は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。

マルチディスプレイ環境で使う

本機および他のディスプレイを同一のコンピュータに接続した場合、ディスプレイ上でのポインタ動作はコンピュータの設定によって異なります。

セカンドディスプレイがミラーモードで接続されている場合は、本機と他のディスプレイに同じ画面が表示され、ポインタは同じ動作をします。

マルチディスプレイ環境（拡張モード）で使用する場合には、他のディスプレイを操作するオプションがいくつかあります。

- ファンクションキー、リングキー、または電子ペンのサイドスイッチを「マッピング画面切り替え」機能に設定します。続いて設定したデバイスボタンを押すと、本機と他のディスプレイとの間でポインタを切り替えることができます。

  たとえば、本機を液晶ペンタブレットとして使うか（ポインタの位置はペン先）、マッピング画面切り替えにより Intuos のようなペンタブレットとして使う（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。
- ペンのサイドスイッチまたはファンクションキーを「ペン⇔マウスモード」に設定します。これによって本機上で作業するペンモードと他のディスプレイ上で作業するマウスモードをすばやく切り替えることができます。

また、Intuos5 を一緒に接続すれば、他のディスプレイ上でペンモードとして使用することができます。電子ペンは本機と Intuos5 の両方で使用できます。

ディスプレイの調整

本機は、画面の表示の調整を行うことができます。

標準設定と色補正

標準設定（お買い上げ時の設定）：画面を最適品質にする場合には、コンピュータを 1920×1080 の表示解像度に設定します。これは本機で利用可能な最大表示解像度です。詳細については「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。

色補正：カラー、色温度、コントラスト、明るさを標準設定値から変更すると、本機で使用しているカラープロファイルは無効になります。

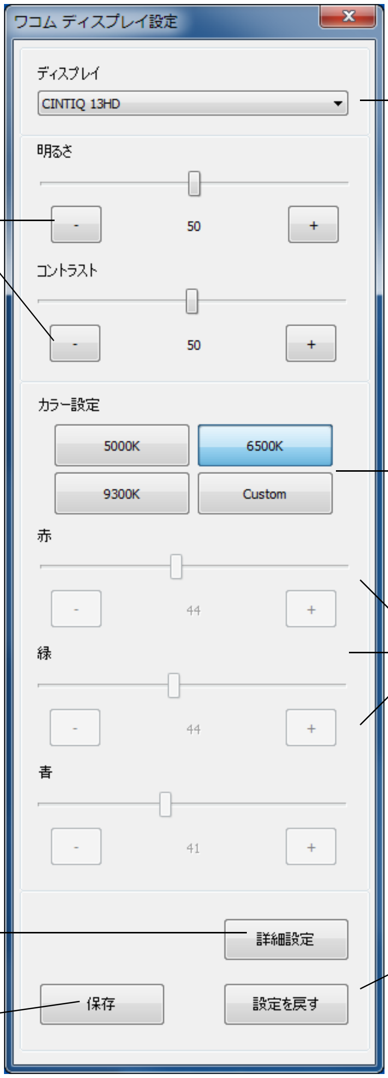
画面の調整

様々な表示設定を最適化できます。設定を行う方法は次の通りです。

- Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムディスプレイ設定」タイルをクリックします。デスクトップ画面の場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面を開きます。
- Windows 7/ Vista/ XP の場合：スタートメニューから「ワコムタブレット」→「ワコムディスプレイ設定」をクリックします。
- Mac の場合：「アプリケーション」フォルダを開いて「ワコムタブレット」→「ワコムディスプレイ設定」をクリックします。

本機を複数使用している場合に選択します。

本機の画面の明るさとコントラストを調整します。



本機の画面の色温度を選択できます。
標準設定は 6500K です。

赤色、青色、緑色の値を個別に調整します。この色設定を手動で変更するとカラープロファイル設定が無効になります。

「詳細設定」ダイアログを表示します。

変更した設定を元に戻します。

「保存」を選択することで変更した設定が保存されます。

画面全体に表示します。

縦横比を維持しながら最大の画面表示を行います。

すべての調整値を工場出荷時の設定に戻します。

省電力機能

本機は、VESA のパワーセービングガイドラインに準拠しています。

DPMS（Display Power Management Signaling）に対応したコンピュータまたはグラフィックボードに接続すると、操作していないときには自動的に以下のような省電力状態になります。

コンピュータの動作状態	画像信号	消費電力	ステータスランプ
電源オン	あり	最大 45W	白色
省電力モード	なし	最大 1W	白色点滅
オフモード	なし	最大 0.5W	オフ

これらの省電力機能が有効な場合は、画面表示は通常より暗くなります。

本機のカスタマイズ

本章では、コントロールパネルを使い本機および入力デバイスの設定方法について説明します。

操作に慣れたユーザは、特定のソフトウェアに対する設定を作成することにより、本機を最適な状態でお使いいただくことができます。

コントロールパネルでタブレットの設定を行う
コントロールパネルの概要
ペン先の位置調整
電子ペンのカスタマイズ
ファンクションキーのカスタマイズ
ボタンの機能
ラジアルメニューの使い方と設定
マッピング画面切り替えを使う
特定のソフトウェアに対する設定
複数の入力デバイスで使う
タブレットリスト内のタブレット名を変更する

コントロールパネルでタブレットの設定を行う

コントロールパネルは、以下の手順で開くことができます。

- Windows 8 の場合：Windows 8 のスタート画面で「ワコムタブレットのプロパティ」タイルをクリックします。クラシックデスクトップ使用時は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーで Windows アイコンを選択してスタート画面を開きます。
- Windows 7/ Vista/ XP の場合：Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。
- Mac の場合：アップルメニューから「システム環境設定」を開き、「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

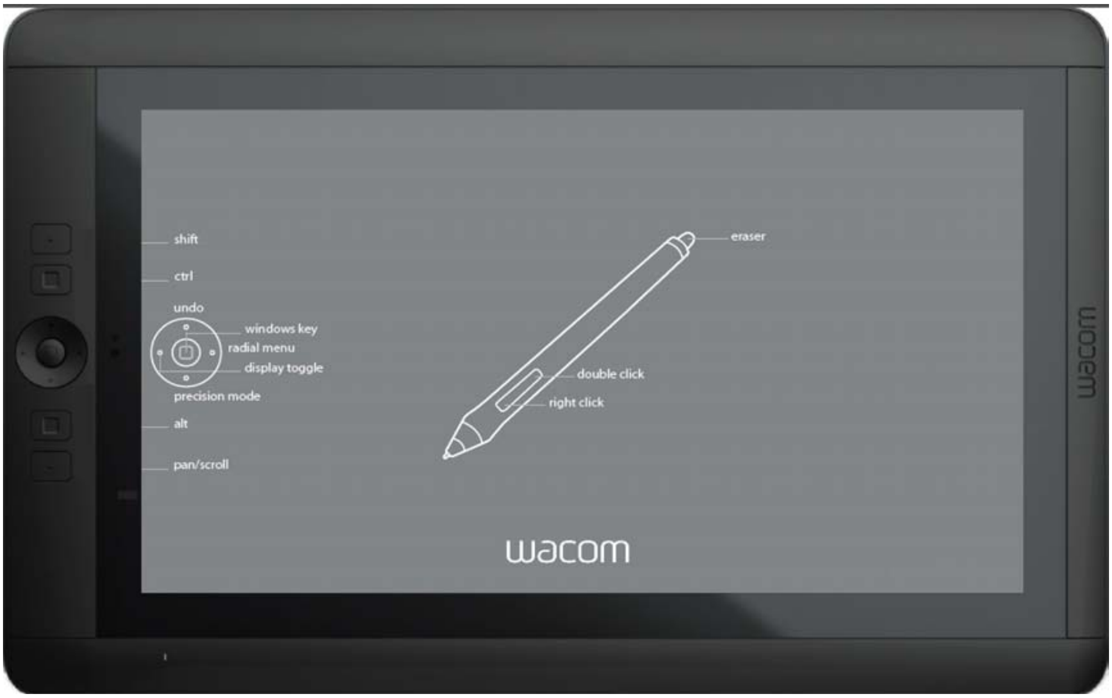
コントロールパネルを開いたら本機のカスタマイズをはじめられます。詳細についてはコントロールパネルの概要を参照してください。

タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、新しいユーザの設定に切り替わります。

設定の表示とエクスプレスビュー

設定内容機能をファンクションキーまたはリングキーに割り当てると、現在のファンクションキー、リングキー、ホームボタン、ペンのデバイスボタンの設定一覧を画面に表示できるようになります。該当するキーをクリックして図の中の任意の項目をクリックすれば、該当するコントロールパネルのタブが開き、設定を変更することができます。

コントロールパネルの「ファンクションキー」タブで「エクスプレスビューを表示する」のチェックボックスを選択していれば、個々のファンクションキー、リングキー、ホームボタンを長押しすると設定内容が画面に表示されます。この機能はチェックボックスのチェックを外すとオフになります。エクスプレスビューは、ファンクションキーを放してから約 1 秒で閉じます。



コントロールパネルの概要

コントロールパネルを使って本機またはグリップペンをカスタマイズできます。コントロールパネルを開くと、グリップペンまたはその他の入力デバイスのアイコンが「入力デバイス」に表示され、その内容に応じてタブが表示されます。

コントロールパネルは以下の手順で開きます。

Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレットのプロパティ」タイルをクリックします。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面を開きます。

Windows 7/ Vista/ XP の場合：

Windows の「スタート」ボタンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。次に、「ワコムタブレット」を選択し、「ワコムタブレットのプロパティ」オプションを選択します。

Mac の場合：

1. アップルメニューの「アプリケーション」フォルダから「システム環境設定」を開きます。
2. 「ワコムタブレット」アイコンをクリックします。

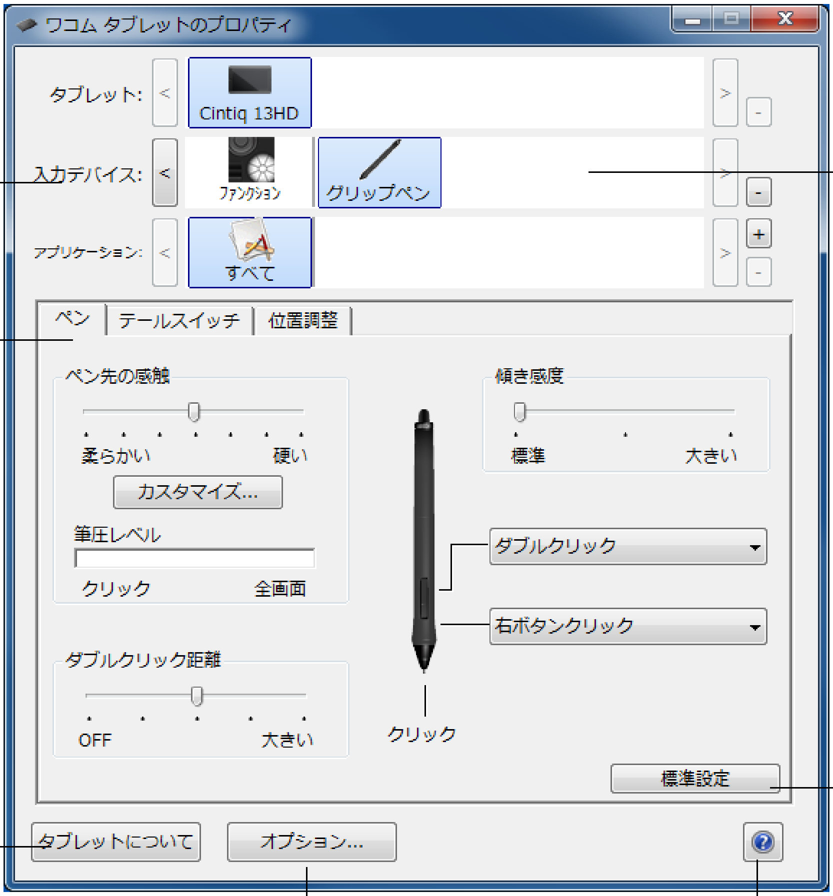
補足：タブレットドライバは、ユーザごとの設定が可能です。ログイン後に各ユーザは、コントロールパネルで個人設定をカスタマイズできます。ユーザを切り替えると、自動的に新しいユーザの設定に切り替わります。

ご使用のペンタブレット、入力デバイスおよびソフトウェアの設定を表すアイコンを表示します。

ファンクションキーおよびラジアルメニューの設定をカスタマイズするには、「ファンクション」を選択します。マルチディスプレイ環境では、「マッピング画面切り替え」機能を利用することができます。

電子ペンの設定をカスタマイズするには「グリップペン」を選択します。本機で電子ペンを使用するとこのアイコンが表示されます。

各タブには、選択した入力デバイスに対してカスタマイズ可能な設定が表示されます。



ペンタブレットとタブレットドライバに関する情報が記載されたダイアログを表示します。本機の「診断」もできます。

選択したタブの設定を標準設定に戻します

「オプション」ダイアログを表示します。

本書をダウンロードまたは表示します。

コントロールパネルのほとんどの項目で、項目の上に画面のポインタを静止させると該当するヒントがすぐにポップアップします。

キーボードのタブと矢印キーでコントロールパネルを操作することもできます。

コントロールパネルリストとタブ：コントロールパネルの「タブレット」、「入力デバイス」および「アプリケーション」リストから、設定変更するタブレット、入力デバイス、およびソフトウェアを選択できます。

「タブレット」リストには、コンピュータに接続しているタブレットのアイコンが表示されます。リストの下に表示される設定はすべて、選択したタブレットに適用されます。

- コントロールパネルは、サポートしているタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。
- 接続しているタブレットの設定を閲覧または変更することができます。
- コンピュータに接続されていないペンタブレットの設定は、「タブレット」リストから削除することはできません。

複数ペンタブレットの設置およびタブレットリスト内のタブレット名を変更するも参照してください。

現在の選択がハイライトされます。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と本機で使用されている各種入力デバイスのアイコンが表示されます。

入力デバイスの設定をカスタマイズする場合は、「入力デバイス」リストのアイコンをクリックしてください。該当するタブが表示されます。詳細は、ファンクションキーのカスタマイズおよび電子ペンのカスタマイズ参照してください。

補足： 本機で初めて電子ペンを使用すると、電子ペンは自動的に「入力デバイス」リストに加えられ、標準設定の状態で追加されます。

複数の入力デバイスで使うも参照してください。

「アプリケーション」リストで、特定のソフトウェアにのみ適用する「入力デバイス」設定を定義できます。特定のソフトウェアに対する設定を参照してください。

補足： 「アプリケーション」リストは任意です。本機をカスタマイズするために、ソフトウェアを選択または追加する必要はありません。

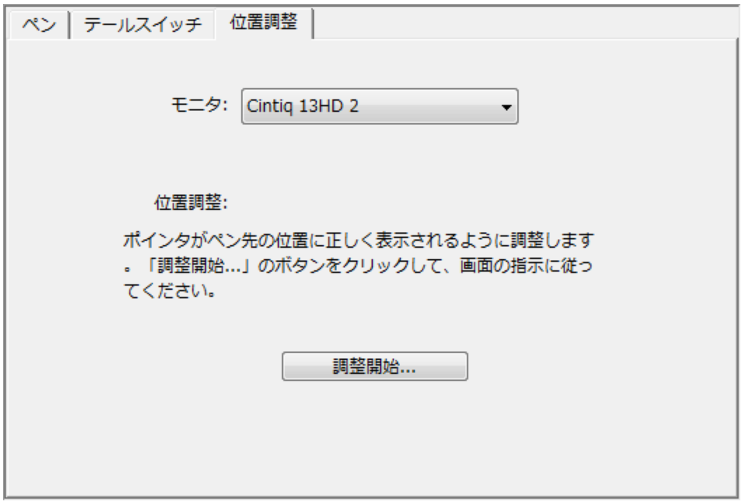
本機機能のカスタマイズ

本機のカスタマイズを行うには、コントロールパネルを開いて「入力デバイス」の「ファンクション」アイコンを選択します。カスタマイズするタブを選択し、使用可能なオプションを使用して設定を変更してください。

カスタマイズを行う場合は、タブで変更を行います。いろいろな設定を試して、最適な設定を見つけてください。設定の変更は直ちに有効となります。「標準設定」をクリックすると、お買い上げ時の標準設定に戻ります。

ペン先の位置調整

本機を最適な状態でお使いいただくために、ペン先の位置調整を行い、ポインタとペン先の位置を合わせる必要があります。これは、保護ガラスによる視差の調整のために必要です。本機を通常使用するときの姿勢と目の位置（高さ）で、次の手順を行ってください。



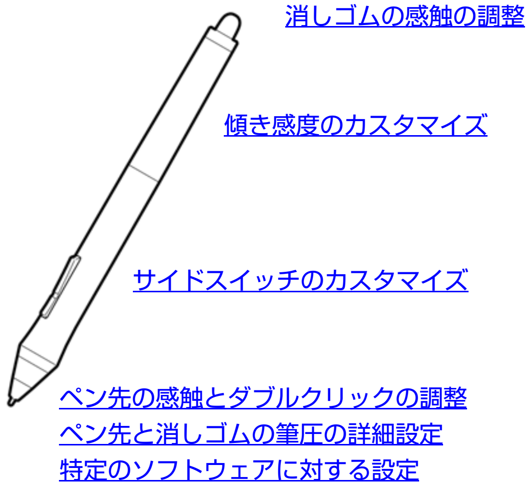
1. コントロールパネルを開きます。

   コンピュータに複数のペンタブレットを接続している場合は、位置調整をするペンタブレットを「タブレット」リストから選択します。
2. 「入力デバイス」リストから「グリップペン」を選択します。次に「位置調整」タブを選択します。
3. 複数のディスプレイを使用している場合は、「モニタ」欄で本機を選んでください。コンピュータが認識しているディスプレイがリストに表示されます。
4. 「調整開始 ...」をクリックして位置調整画面を開きます。
5. 普段通りにペンを持ち、通常本機を使うときの姿勢と目の位置（高さ）を保ちます。左上に表示された十字マークの中心をペン先でクリックします。
6. 続いて、画面の右上、左下、右下に表示される十字マークの中心をクリックします。
7. ディスプレイ上の数カ所をペンでタッチし、ポインタとペン先の位置が合っているかテストします。問題なければ「OK」をクリックし、再度調整する場合は「再調整」をクリックします。

ヒント：ポインタを実際のペン先の位置から少しずらすには、十字マークからずれた位置を示す点をクリックして位置調整します。たとえば、ポインタの位置をペン先の左上方 2.5 mm に表示させるには、十字マークの右下方 2.5 mm の点をクリックして位置調整します。

電子ペンのカスタマイズ

電子ペンでコントロールパネルを開くと、「入力デバイス」リストから自動的に「グリップペン」が選ばれ、その内容に応じてタブが表示されます。選択されていない場合は「入力デバイス」リストからペンを選択してください。そしてタブを選択し、使用可能なオプションを設定します。



ワコムは、アートペンやエアブラシといった多数の本機対応オプションペンを提供しております。

- アートペンは筆圧に対応したペン先とテールスイッチ（消しゴム）を搭載し、さらに傾き、回転にも対応しています。回転の検出をサポートするソフトウェアで使用すると、ペン軸を回転させるだけで、線の幅を狭くしたり太くしたりできます。
- エアブラシは本物志向のデジタルエアブラシです。筆圧機能、消しゴム機能、傾き検出、およびホイール機能を搭載し、アナログのエアブラシの感覚をそのままに作業できます。

本機のタブレットドライバは、これらの入力デバイスをサポートしています。本機の画面上でこれらの入力デバイスを使用すると、「入力デバイス」リストに追加されます。コントロールパネルが自動で更新され、新しい入力デバイスとカスタマイズ可能なオプションが表示されます。

エアブラシのホイール、アートペンの回転をサポートしているソフトウェア内で、これらの機能を調節することができます。詳しくはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

これらのオプションデバイスやその他オプション品を購入するには、ワコムストアのホームページをご覧ください。

http://store.wacom.jp/

ワコムのホームページで、エアブラシ、アートペンの機能をサポートしているソフトウェアを確認できます。

http://wacom.jp/

ペン先の感触とダブルクリックの調整

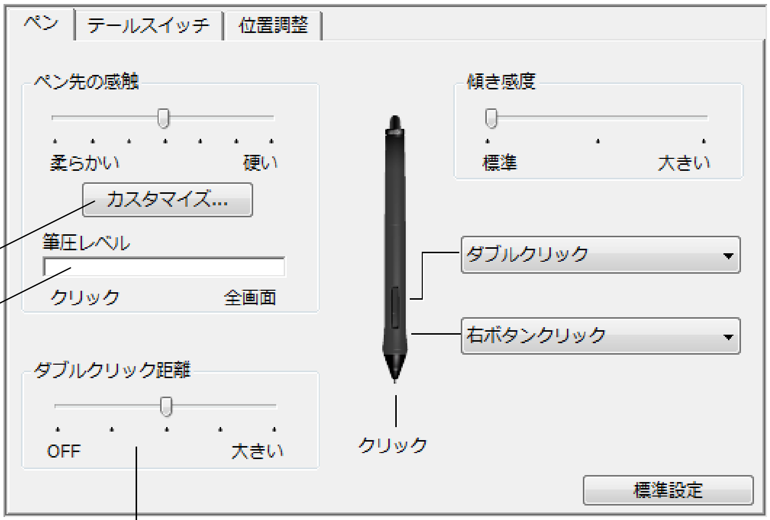
ペンの感度を調整する場合は、「ペン」タブを選択します。

クリックしたり線を描いたりインク機能を使用する際に必要な筆圧をカスタマイズします。

太い線で描きたい、または軽い力でクリックしたい場合は、より「柔らかい」に設定します。強い筆圧で細い線を描きたいときは、より「硬い」に設定します。

ペン先の感度をさらにカスタマイズできます。

画面上の空領域にポインタを置き、ペン先で画面を押します。無理なく最大筆圧が得られるように、筆圧をスライダで調整します。



ダブルクリックする領域の大きさを調整します。ダブルクリックアシストを作動しないようにするには、スライダを OFF の位置へドラッグします。

ヒント：

- 「ペン先の感触」を「柔らかい」の方へ設定すると、筆圧の感度が高まります。筆圧対応のグラフィックソフトウェアでは、この設定をお勧めします。
- ソフトウェアによっては、柔らかい筆圧の設定に過剰に反応し、電子ペンを少し押しただけでブラシサイズが画面上で拡大する場合があります。この場合は「ペン先の感触」を「硬い」の方へ設定してみてください。
- ダブルクリックを簡単にするには、ダブルクリックする範囲（ダブルクリック距離）を大きくします。
- グラフィックソフトウェアによっては、ダブルクリック距離を大きくしたことにより、ドラッグ操作やインクのストロークの開始が遅れることもあります。この場合、ドラッグ操作やインクのストロークの開始も遅れる場合があります。このような場合はダブルクリック距離を小さく設定し、サイドスイッチを使用してダブルクリックしてみてください。また、ファンクションキーをダブルクリックに設定することも可能です。

消しゴムの感触の調整

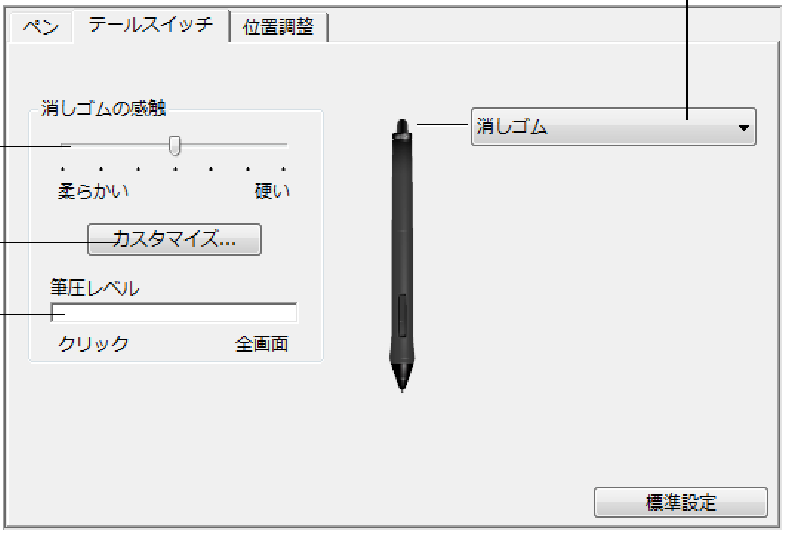
消しゴムの感触を調整する場合は、「テールスイッチ」タブを選択します。

テールスイッチを使用した場合に働く機能を選択します。

消しゴムの筆圧をカスタマイズします。

消しゴムの感触をさらにカスタマイズできます。

テールスイッチで画面上の空領域を押します。無理なく最大筆圧が得られるように、筆圧をスライダで調整します。



ペン先と消しゴムの筆圧の詳細設定

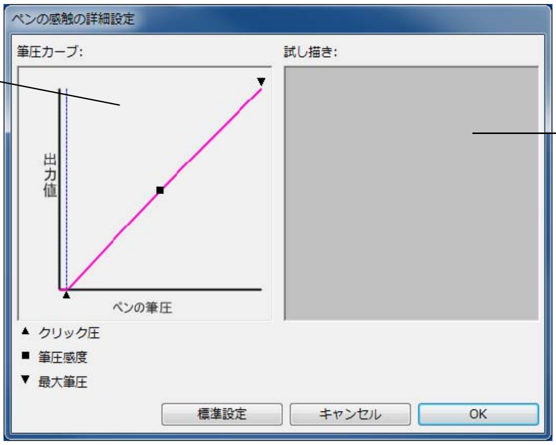
さらにペン先または消しゴムの筆圧をカスタマイズする場合、「ペン」または「テールスイッチ」タブを選択し、「カスタマイズ ...」ボタンをクリックします。「ペンの感触の詳細設定」ダイアログボックスのオプションで、ペン先または消しゴムの筆圧感度とクリックのしきい値設定を変更できます。

選択した筆圧感度の曲線とクリック圧の設定を図で示しています。

感度曲線を変更するには筆圧スライダを動かします。

- 「クリック圧」では、ペン先のクリックに必要な筆圧を設定します。
- 「筆圧感度」を調節し、筆圧カーブの傾きを変更します。
- 「最大筆圧」は、最大筆圧を得るために必要な荷重を設定します。

筆圧の各コントロールを動かして、筆圧カーブを変更します。
急激な増加を表す曲線は、ペンの感度が高いことを示します。

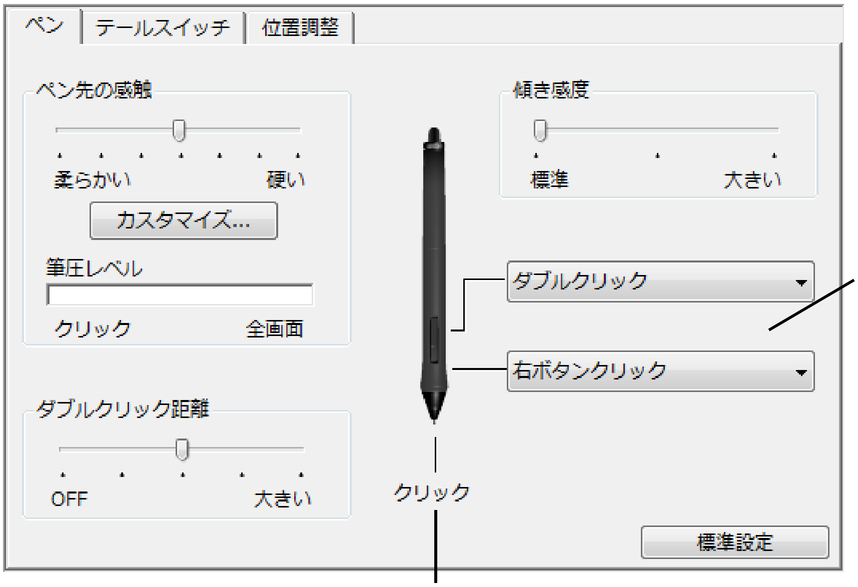


ペン先または消しゴムを使って、ボックス内を何度か試し描きしてみて、変更結果をテストしてください。

重要：「ペン先の感触」、または「消しゴムの感触」のスライダと詳細な設定は連動しています。詳細な設定をカスタマイズしてから、スライダをドラッグすると、詳細設定で設定した内容が削除されます。

サイドスイッチのカスタマイズ

サイドスイッチおよびペン先に割り当てられた機能を変更する場合は、「ペン」タブを選択します。



上側または下側のサイドスイッチを押した場合に働く機能を選択します。

画面に触れずにペン先を画面から 5 mm 以内に近づけて、上側または下側のサイドスイッチを押すと、設定した機能が実行されます。

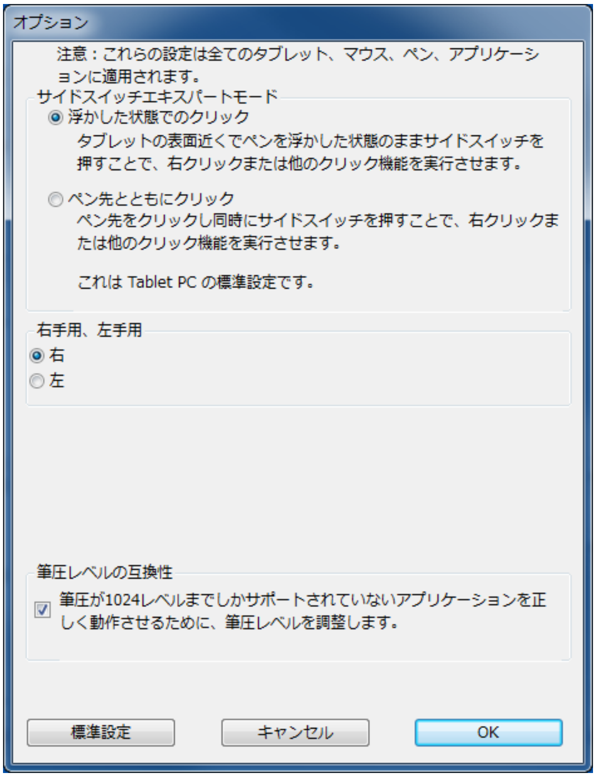
ヒント：簡単にダブルクリックを行うには、サイドスイッチに「ダブルクリック」を設定します。

ペン先に割り当てた機能を変更するには、文字の上をダブルクリックします。グラフィックソフトウェアで線を描くためには、ペン先が「クリック」に設定されている必要があります。

「サイドスイッチエキスパートモード」で、クリック機能を実行する方法を変えることができます。

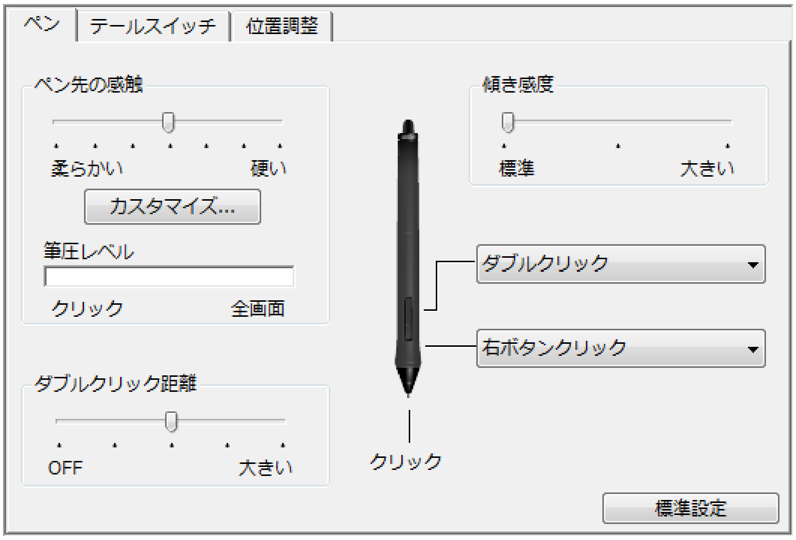
コントロールパネル下部の「オプション ...」ボタンをクリックして、「オプション」ダイアログを表示してください。

- 「浮かした状態でのクリック」を選択した場合、ペン先を画面に接触させずにクリック機能を実行することができます。
- 「ペン先とともにクリック」を選択した場合、サイドスイッチを押しながらペン先で画面に触れると、クリック機能が実行されます。「ペン先とともにクリック」は正確な位置でのクリックが可能で、タブレット PC の標準設定です。
- 利き手を「右利き」、「左利き」から選びます。
- 1024 段階の筆圧レベルしかサポートしていないソフトウェアで使用する場合は、必要に応じて「筆圧レベルの互換性」ボックスにチェックを付けてください。



傾き感度のカスタマイズ

電子ペンの傾き感度を調整する場合は、「ペン」タブを選択します。傾き感度では、傾き効果を得るためにどの程度電子ペンを傾ける必要があるかを設定します。感度が高くなるほど、少ない傾きで効果が得られます。



「傾き感度」のスライダをドラッグして設定します。傾き検出に対応したソフトウェアで新しい設定をテストしてください。

傾き設定はペン先と消しゴムの両方に適用されます。

傾きは電子ペンを動かす方向に反応します。ソフトウェアによっては、ブラシの方向やその他の特性をコントロールするために、傾きが使えます。

傾き検出に対応しているソフトウェアについてはワコムのホームページをご覧ください。

注意：動作を保証するペンの傾き角度は、垂直から 40 度までです。

ファンクションキーのカスタマイズ

ファンクションキーのカスタマイズを行う場合は、「ファンクションキー」タブを選択します。ファンクションキーには、マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロークなどの機能を割り当てることができます。以下は標準のファンクションキー設定です。

ファンクションキーを押した場合に働く機能を選択します。

ファンクションキーの機能は特定のアプリケーションに対して個別に設定することもできます。

詳細は、ファンクションキーの使い方を参照してください。

「エクスプレスビューを表示する」をクリックしてエクスプレスビューをオン・オフします。

重要：アプリケーションによっては、ファンクションキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。詳細は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。

リングキーおよびホームボタンのカスタマイズ

リングキーまたはホームボタンのカスタマイズを行う場合は、「リングキー」タブを選択します。リングキー、ホームボタンにはそれぞれ、マッピング画面切り替え、修飾キー、キーストロークなどの機能を割り当てることができます。以下はリングキーおよびホームボタンの標準設定です。

リングキーまたはホームボタンを押したときに実行される機能を選択します。

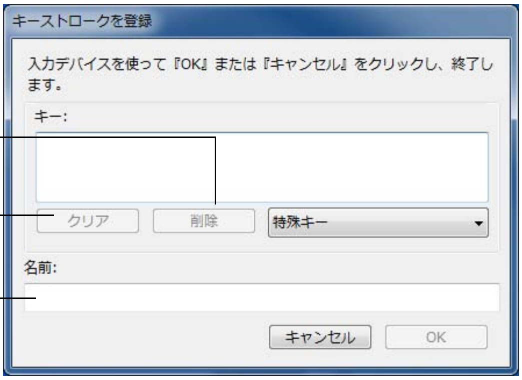
これらの機能は特定のアプリケーションに対して個別に設定することもできます。

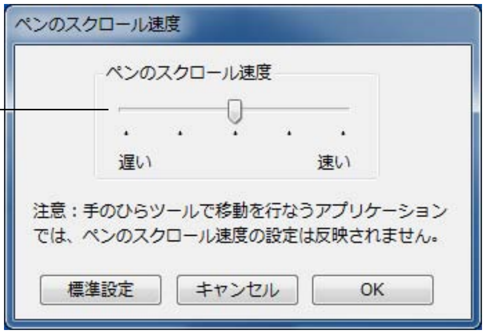
詳細についてはファンクションキー、リングキー、ホームボタンの使い方を参照してください。

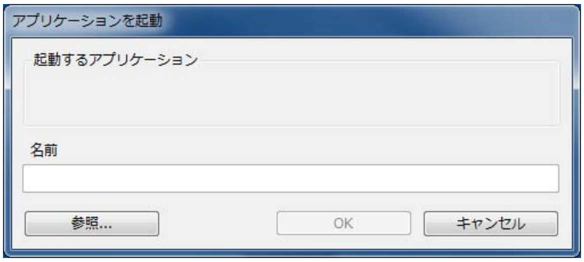
ボタンの機能

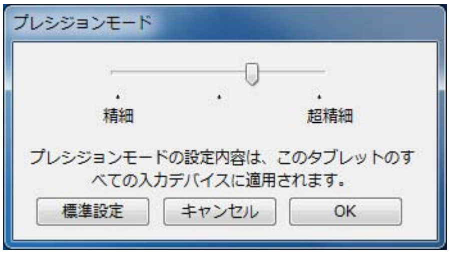
作業しやすいように、本機の設定をカスタマイズしてください。コントロールパネルで、電子ペンのスイッチ、ファンクションキー、リングキー、ホームボタン、ラジアルメニューの各デバイスボタンの設定を変更できます。ここに示すボタン機能オプションは使用する機種によって異なる場合があります。また、ここに示すオプションは、一部の機種や設定に利用できないことがあります。

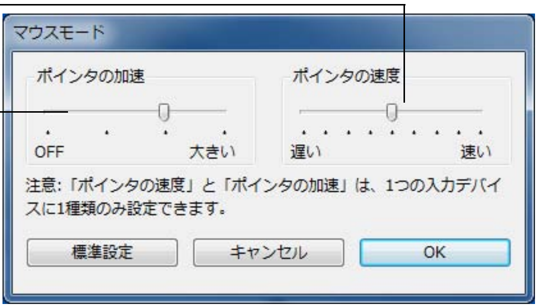
機能名	内容
クリック	
• クリック	クリックを行います。常にポインタの操作とクリックができるよう、少なくともひとつのスイッチはクリック機能に割り振るようにしてください。
• 右ボタンクリック	右クリックを行います。クリックすると、コンテキストメニューが表示されます。
• 中ボタンクリック	中ボタンクリックを行います。
• ダブルクリック	ダブルクリックを行います。ペン先で 2 度たたく代わりにこの機能を使用すると、ダブルクリック操作が簡単になります。
• クリックロック	サイドスイッチを 1 回押すと、マウスの左ボタンを押してそのまま押し続けている状態になります。もう一度押すと、左ボタンから指を放す動作になります。クリックロックは、オブジェクトをドラッグする、またはテキストブロックを選択する場合に便利です。
• 第 4 ボタンクリック	マウスの第 4 ボタンを押すことに相当します。
• 第 5 ボタンクリック	マウスの第 5 ボタンを押すことに相当します。

機能名	内容
キーストローク	キーストロークを割り当てできます。このオプションを選択すると、「キーストロークを登録」ダイアログボックスが表示されます。 1 つまたは複数のキーストロークを組み合わせて「キー」ボックスに入力できます。 キーストロークには、文字、数、F3 のようなファンクションキー、修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl]、Mac では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を組み合わせることができます。「特殊キー」メニューから、特別なキーストローク、またはキーストロークの組み合わせを選択することもできます。 キーストロークを入力したら、「OK」をクリックします。 重要：[Enter] キー (Windows) と [Return] キー (Mac) は、キーストロークとして定義できますが、「キーストロークを登録」ダイアログボックスの「OK」を選択する場合に使用できません。 必ず電子ペンを使用して「OK」ボタンをクリックしてください。 キーストローク定義に名前を入力します。名前は、それぞれコントロールまたはラジアルメニューに表示されます。 キーストローク機能は、ソフトウェアごとに設定できます。 特定のソフトウェアに対する設定を参照してください。 キーストローク入力ボックスに入力した最後の内容を削除します。 入力ボックスをクリアします。 定義したキーストロークの名前を入力することができます。  ソフトウェアでサポートされているキーストロークショートカットについては、ソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。
修飾キー	修飾キー（Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Mac では [shift]、[option]、[command]、[control] キー）を割り当てできます。多くのソフトウェアでは、修飾キーを使用してメニューやツールを切り替えます。 1 つ以上のキーオプションを選択します。 「クリック」オプションの 1 つをチェックすると、スイッチを押すとマウスのクリックが実行されるようになります。

機能名	内容
ラジアルメニュー	画面上にラジアルメニューを表示します。ラジアルメニューの各階層メニューは、8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。
戻る	ブラウザで「戻る」機能を実行します。
進む	ブラウザで「進む」機能を実行します。
スクロール / 移動	「スクロール / 移動」に設定されたデバイスボタンを押して、本機の画面上でペン先を滑らせるように動かすと、文書または画像をウィンドウ内で自由に移動させることができます。 「スクロール / 移動」を選択すると、「ペンのスクロール速度」ダイアログボックスが画面に表示されます。 • 設定を遅くすると、スクロールの速度が遅くなります。画像を正確にコントロールしなければならないような細かい作業に有効です。 • 電子ペンが動く方向に従って文書や画像がスクロール、または移動します。 • 目的位置までスクロールまたは移動させたら、デバイスボタンから指を離すか、ペン先を画面から離してください。 • ソフトウェアによっては、文書がペン先の動きにつれて正確にポインタに追従するものと、ポインタと同じ方向に文書が移動するのみのものがあります。 補足：手のひらツール（ピクセルレベル）で移動を行うソフトウェアでは、スクロール速度の設定が反映されません。 
デスクトップを表示	開いているウィンドウをすべて最小化して、デスクトップを表示します。
タスク切り替え	起動中のソフトウェアの中で、前面に表示させたいソフトウェアをウィンドウ切り替えダイアログボックスから選択できます。Aero を搭載した Windows 7 Windows Vista では、3D フリップが起動して、前面に表示させたいソフトウェアを選択できます。

機能名	内容
開く / 起動	ダイアログボックスを開いて、起動する特定のソフトウェア、ファイル、またはスクリプトを選択できます。 「参照」ボタンをクリックして、起動するソフトウェア、ファイル、スクリプトを選択します。「名前」ボックスに、選択したソフトウェアが表示されます。 「OK」をクリックします。  ダイアログボックスが閉じ、選択した「開く / 起動 ...」オプションがボタンオプションとして割り当てられます。デバイスボタンを押すだけで、割り当てたオプションが実行されます。 ラジアルメニューに選択した場合、ラジアルメニューリストに表示されるようになります。
Ink 文字認識 ON/OFF	（Mac のみ）Ink の「手書き認識」機能をオン・オフします。 Ink は筆跡を自動で認識してテキストに変換し、ドキュメントに挿入します。この機能を使用するには、Ink をオンにする必要があります。 Ink の使い方については、Mac のヘルプをご覧ください。
オンスクリーンキーボード	この機能が割り当てられたデバイスボタンを押すと、画面上にキーボードが表示されます。すでに表示されている場合は、デバイスボタンを押すとキーボードは閉じます。
Expose	（Mac のみ）画面に開いているウィンドウをタイル表示します。ダイアログボックスで「キーストローク ....」→「特殊キー」メニューと選択して、このオプションを表示します。
筆圧一定（ペンのみ）	デバイスボタンを放すまで、筆圧を一定に保ちます。 たとえば、ブラシが好みのサイズになるまで、筆圧を変えながら線を描きます。次にボタンを押すと、ボタンを放すまで同じブラシのサイズで描き続けることができます。

機能名	内容
プレシジョンモード	現在のペン先位置周辺のマッピングの比率を変更します。電子ペンを大きく動かしても画面上のポインタはそれほど移動しません。この機能は、電子ペンやブラシストロークを精密に操作しなければならない場合に便利です。 この機能をデバイスボタンに割り当てると「プレシジョンモード」ダイアログが開き、プレシジョン設定を調整できます。 これを有効にするには次の操作を行ってください。 • 常に有効にする場合は、機能を割り当てたデバイスボタンを押して、「プレシジョンモード」に切り替えます。再度同じデバイスボタンを押せば通常のマッピングに戻ります。 • 一時的に有効にする場合は、機能が割り当てたデバイスボタンを長押しします。デバイスボタンを離すと通常のマッピングに戻ります。 「マウスモード」で使用している場合、ポインタの動作について、加速は「OFF」、速度は「遅い」で動作するように調整されます。 
マッピング画面切り替え	本機をマルチディスプレイ環境で使用している場合に使用できます。 本機と他のディスプレイとの間でポインタを切り替えることができます。たとえば、本機を液晶ペンタブレットとして使用したり（ポインタの位置はペン先）、マッピング画面切り替え機能を使って Intuos のようなペンタブレットとして使用する（ポインタはデスクトップ全体または他のディスプレイ上を移動できる）ことができます。

機能名	内容
ペン⇔マウスモード（ペンのみ）	ペンモードとマウスモードを切り替えます。マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、マウスモードで電子ペンを使用し、他の複数のディスプレイを操作できます。 ペンのボタンを「ペン⇔マウスモード」に設定すると、「マウスモード」ダイアログボックスが表示され、マウスの加速度とスピードを調整できます。 ポインタの速度を設定します。 ポインタの加速を設定します。  「マウスモード」はコントロールパネル内の別のダイアログからでも開き、設定できます。「ポインタの加速」と「ポインタの速度」の設定は、カスタマイズ中の電子ペンとソフトウェアにつき、1 つだけしか設定できません。 これらのマウスモード設定は、システム設定からは独立しています。コントロールパネルで設定を変更しても、システム側の同内容の項目の設定には影響しません。しかし、システム側で同内容の項目の設定を変更すると、本機の設定に影響する場合があります。
消しゴム（ペンのみ）	このデバイスボタンを押すと、消しゴム機能に対応したソフトウェアでペン先を消しゴムのように使用できます。これはテールスイッチの標準設定です。消しゴムで消すを参照してください。

機能名	内容
設定内容	現在のファンクションキー、リングキー、ホームボタン、電子ペン設定を画面上に表示します。

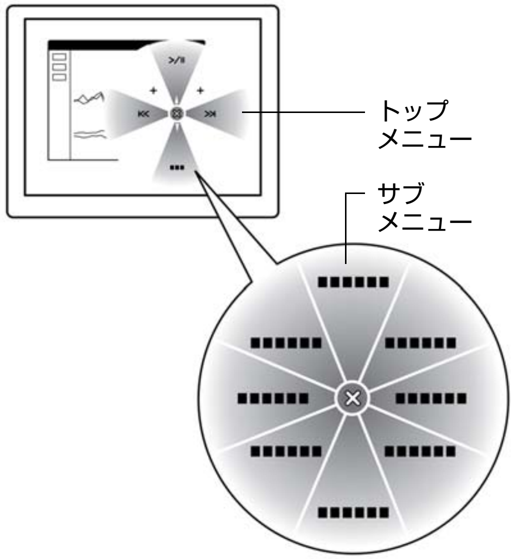
機能名	内容
	表示されている各項目をクリックすると、対応するコントロールパネルのタブが開きます。続いて必要な設定変更を行うことができます。 この機能が割り当てられたデバイスボタンをもう一度押すか、画面の各項目以外の領域をクリックすると表示を閉じます。 ご使用の製品機種によって設定は異なる場合があります。
タブレット PC	
• Tablet PC 入力パネル	（Windows Starter および Home Basic、Windows Vista Home Basic を除く Windows 7/ Vista）この機能に設定したデバイスボタンを押すと、Tablet PC 入力パネルが開きます。
• Windows Journal	（Windows Starter および Home Basic、Windows Vista Home Basic を除く Windows 8/ 7/ Vista）Windows Journal を開きます。
• Tablet PC の設定に従う	（Windows Starter および Home Basic、Windows Vista Home Basic を除く Windows 8/ 7/ Vista）Windows の「Tablet PC 設定」および「ペンと入力デバイス」コントロールパネルの設定に基づいてデバイスボタン機能を設定します。
無効	すべてのデバイスボタン機能を無効にします。
アプリケーションの設定に従う	ソフトウェアにデバイスボタンの数の情報を送ります。この機能は、組み込みサポートを搭載した CAD プログラムなどのソフトウェア用です。
標準設定	デバイスボタンの設定を標準設定に戻します。

ラジアルメニューの使い方と設定

ラジアルメニューとは、編集、ナビゲーション、メディアコントロールなど多くの機能を素早く実行できるポップアップメニューです。

- デバイスボタンに「ラジアルメニュー」を設定します。ボタンを押すと、ラジアルメニューがポインタの位置を中心に表示されます。
- ラジアルメニューは円形で表示され、階層で構成されています。メニューの各レベルは 8 つの項目で構成され、各項目にはさまざまな機能と選択可能なオプションが設定できます。
- メニューをクリックして選択します。追加オプションを示すサブメニューが表示される場合もあります。
- ラジアルメニューからオプション機能を選択すると、メニューは終了します。

  機能を選択せずにメニューを終了する場合、ラジアルメニュー中央の「X」ボタンをクリックするか、またはオプション機能が割り当てられていない空の項目をクリックしてください。もう一度押すと、またメニューが表示されます。
- ラジアルメニューを閉じずに選択を行うには、ラジアルメニューのボタンを長押しします。



コントロールパネルの「ラジアルメニュー」タブで、ラジアルメニューに割り当てるオプション機能を設定します。

1. メニュー項目を選択します。
2. 「機能」でメニュー項目に機能を割り当てます。必要に応じて「表示名」で名前を変更できます。
3. さらにカスタマイズする場合は、メニューまたはサブメニューを選択して同様の操作を行います。

ヒント：

- 「機能」メニューから「サブメニュー」を選択すればメニュー項目のカスタムサブメニューを作成できます。
- 「表示名」が複数行になるときは「ENTER (RETURN)」キーを押して改行してください。

マッピング画面切り替えを使う

「マッピング画面切り替え」機能はシステムがマルチディスプレイで構成されている場合にのみ利用できます。ファンクションキーや電子ペンのサイドスイッチなどのデバイスボタンに「マッピング画面切り替え」機能を設定します。続いてデバイスボタンを押すと、本機と他のディスプレイとの間でポインタが切り替わります。液晶ペンタブレットとしての使い方（ポインタの位置はペン先）、あるいは Intuos のようなペンタブレットとしての使い方（ポインタはデスクトップ全体またはシステム上の他のディスプレイ上を移動できる）に切り替えることができます。

コントロールパネルを開き、本機が選択されていることを確認してください。「マッピング画面切り替え」タブは、本機がマルチディスプレイ環境で使用されている場合に有効になります。このタブ上のオプションで、対象ディスプレイへのタブレットのマッピング方法を設定します。

- 「デスクトップ全体に切り替える」では、本機のポインタがシステムのデスクトップ全体に切り替わります。デバイスボタンをもう一度押すと、ポインタが本機へ戻ります。
- 「他のモニタに切り替える」では、本機のポインタが他のディスプレイに切り替わります。デバイスボタンを押すたびにポインタはディスプレイ間を移動し、最後に本機に戻ります。

重要：「マッピング画面切り替え」でソフトウェア個別の設定を使用する場合は、必ずカスタマイズしたソフトウェア（「その他すべて」を含む）でいずれかのボタンを「マッピング画面切り替え」に割り当ててください。ソフトウェア固有の設定を作成する前にデバイスボタンに「マッピング画面切り替え」を割り当てるのが最も簡単です。

「有効領域」オプションを使って、画面上の操作エリアのサイズを設定できます。

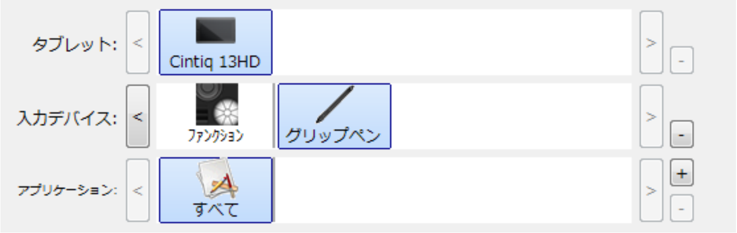
- 「縦横比を保持」は操作エリアのサイズを調整して、本機とデスクトップ全体または新規にマッピングされたディスプレイの間で正確な縦横比率を保持します。設定内容によっては、操作エリアの一部は、このオプションを選択した場合に使用できなくなる場合があります。選択をしないと、正確な縮尺比または比率は維持されません。たとえば、画面に円を描いてもマッピングされたディスプレイ画面上では楕円が描かれます。
- 「小さな領域を使う」は、操作エリアを 15.2 × 20.3 cm のサイズに制限します。もし「縦横比を保持」も合わせて選択すると、操作エリアはさらに小さくなります。選択をしないと、液晶ペンタブレットの操作エリアの大部分が本機からディスプレイへのマッピングに使用されます。

操作エリアの赤枠が選択された範囲です。

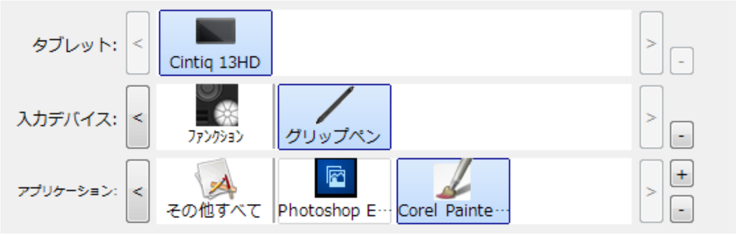
特定のソフトウェアに対する設定

使用する入力デバイスは、特定のソフトウェア向けにカスタマイズできます。たとえば、あるソフトウェアでは、ペン先の筆圧を硬めに設定して、他のソフトウェアでは柔らかく設定できます。「アプリケーション」リストにアプリケーション（ソフトウェア）を追加し、次に追加したソフトウェアに対して入力デバイスの設定をカスタマイズします。

- ソフトウェアごとの設定を行わずに、入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択した場合、「アプリケーション」リストには「すべて」アイコンが表示されます。「すべて」アイコンは、ソフトウェアすべてに入力デバイスの設定を適用します。以下の例では、「グリップペン」には特定のソフトウェアに対する設定は行われていませんので、「すべて」アイコンが表示されています。「グリップペン」の設定はすべてのソフトウェアに共通です。



- 特定のソフトウェアに対する設定が加わると、「すべて」アイコンは「その他すべて」に変わります。新しく追加されたソフトウェアのアイコンが追加されます。



上記の例では、特定のソフトウェアに対する設定が、「グリップペン」に追加されています。「その他すべて」アイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合、その変更は、「アプリケーション」リストに追加したソフトウェア以外のすべてのソフトウェアで適用されます。ソフトウェアのアイコンを選択して「グリップペン」の設定を変更する場合は、そのソフトウェアを使用する間のみ設定が適用されます。

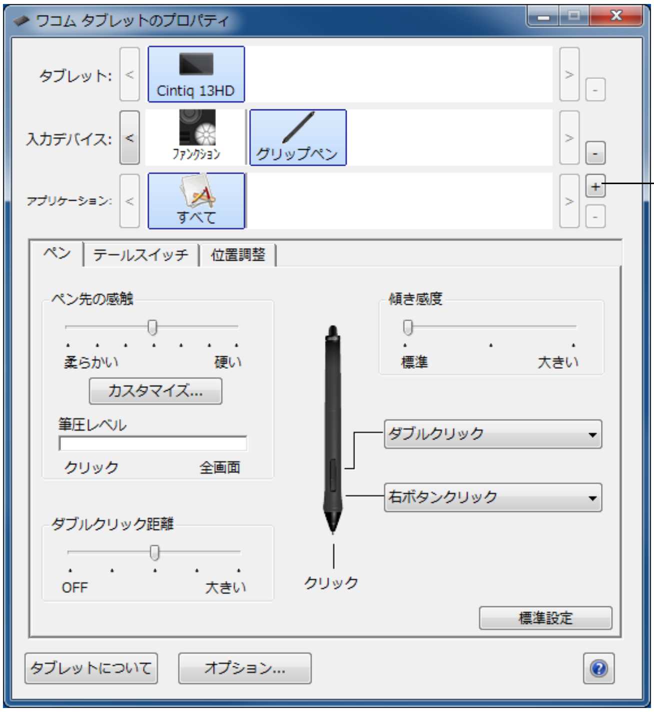
特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、選択した入力デバイスとソフトウェアに対して個別のグループが作成されます。詳細については次のセクションをご覧ください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する
特定のソフトウェアに対する設定を変更する
特定のソフトウェアに対する設定を削除する

ヒント：起動中のアプリケーション内でのファンクションキー、リングキー、ホームボタン、電子ペンの機能設定を確認するには、デバイスボタンの１つに「設定内容」を割り当ててください。

特定のソフトウェアに対する設定を作成する

まず特定ソフトウェアの設定を作成したい製品と入力デバイスを選択します。



「アプリケーション」リストで [+] ボタンを
クリックします。

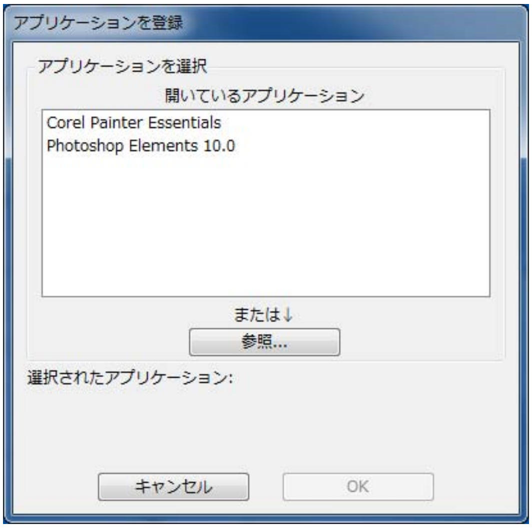
ソフトウェアを選択する方法を次から選択します。

- 設定を作成するソフトウェアを起動します。次に「開いているアプリケーション」ボックスからそのソフトウェアを選択します。
- 「参照」を選択して、コンピュータにインストールされているソフトウェアの実行ファイルを選択します。

選択したソフトウェアの名前が表示されます。

完了する場合は「OK」をクリックしてください。

補足： 2 つのソフトウェアの実行ファイル名が同じであれば、この 2 つのソフトウェアはカスタマイズされた設定を共有します。



ソフトウェアを追加したあとで対象入力デバイスを「入力デバイス」リストから選択すると、追加したソフトウェアのアイコンが「アプリケーション」リストに表示されます。追加したソフトウェアを選択して、次に入力デバイスと追加したソフトウェアに対してタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を作成すると、この方法でカスタマイズされなかったソフトウェアには「その他すべて」の入力デバイスの設定が適用されます。

ヒント : 任意のソフトウェアに対して設定を作成してみてください。それにより電子ペンが使いやすくなったら、さらに、別のソフトウェア向けにも設定をしてみてください

特定のソフトウェアに対する設定を変更する

入力デバイスの設定を特定のソフトウェア用に変更するには、入力デバイスとソフトウェアを選択し、表示されるタブの設定をカスタマイズします。

特定のソフトウェアに対する設定を削除する

特定のソフトウェアに対する設定を削除するには、

1. 「入力デバイス」リストで、特定のソフトウェアに対する設定を削除したい入力デバイスを選択します。次に「アプリケーション」リストから削除するソフトウェアを選択します。
2. 「アプリケーション」リストで [-] ボタンをクリックし、表示されたダイアログボックスで「削除」をクリックして選択を確認します。選択したソフトウェアは、入力デバイスの設定とともにリストから削除されます。

ヒント：ある入力デバイスから特定のソフトウェアに対する設定をすべて削除するには、「入力デバイス」リストから入力デバイスを削除します。続いて入力デバイスをリストの上に戻すと、標準設定の状態で「入力デバイス」リストに追加されます。この方法では、カスタマイズされた「ファンクション」設定は削除できません。複数の入力デバイスで使うを参照してください。

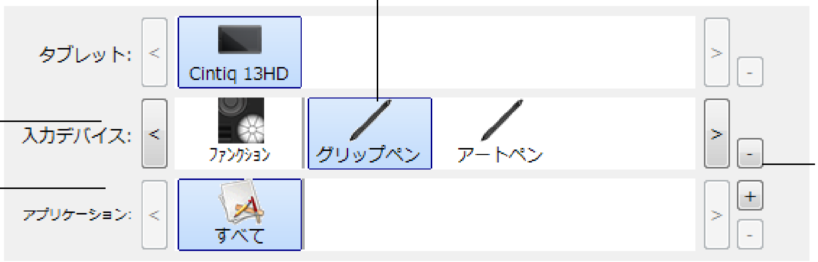
複数の入力デバイスで使う

コントロールパネルは、入力デバイスの設定をカスタマイズし、現在の設定を確認することができます。コントロールパネルを開く際に使用した入力デバイスが自動で選択され、その入力デバイスに対応したタブが表示されます。

設定を変更する入力デバイスを選択します。

「入力デバイス」リストには、「ファンクション」と本機で使用された各種入力デバイスのアイコンが表示されます。

特定のソフトウェアに対する設定が追加されていない場合は、「すべて」アイコンが表示され入力デバイスの設定がすべてのソフトウェアに適用されます。



選択した入力デバイスを削除します。

リストに項目がひとつしかない場合はこのボタンは機能しません。

「ファンクション」アイコンは削除できません。

タブの設定は選択した入力デバイスとソフトウェアのみに適用されます。

「入力デバイス」リストに別の入力デバイスを追加するには、本機でその入力デバイスを使用してください。

- 「入力デバイス」リストに追加されている入力デバイスを選択すると、対応するタブ設定が表示されます。タブ設定に対して行った変更はこのときに適用され、変更はすぐに有効になります。

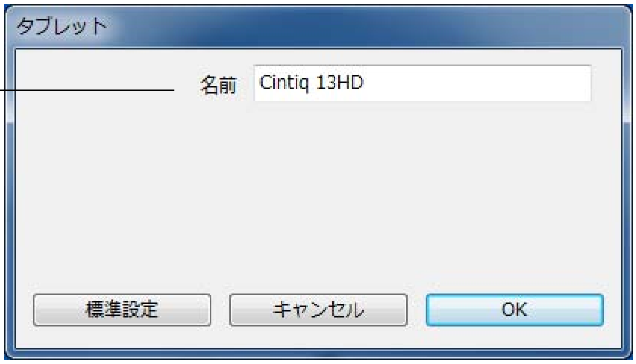
  同じ入力デバイスがすでに追加されている場合は、新しい入力デバイスがその設定を引き継ぎます。この設定は新しく追加した入力デバイスでカスタマイズ可能です。
- 同じ入力デバイスには同じ設定が使用されます。

「入力デバイス」リストから選択した入力デバイスを削除するには、「入力デバイス」リストの [-] ボタンをクリックし、表示されたダイアログボックスで「削除」をクリックして選択を確定します。選択した入力デバイスは、作成済みのカスタム設定とともにリストから削除されます。削除した入力デバイスは、再び画面に近づけることで「入力デバイス」リストに戻すことができます。

タブレットリスト内のタブレット名を変更する

コントロールパネルの「タブレット」リストで、本機のアイコンをダブルクリックします。

本機の名前は必要に応じて変更できます。



トラブルシューティング

トラブルが発生した場合、以下のことを行ってください。

1. タブレットドライバが正しく読み込まれなかった場合、画面に表示されるエラーメッセージで推奨される処置をまず行ってください。それでも問題が解決されない場合は、本章のトラブルシューティング手順をご覧ください。
2. 本機が正常に作動しない場合は、トラブルシューティングまたはペンタブレットのトラブルシューティング情報をご覧ください。問題が記載されている場合、その指示に従ってください。
3. ワコムのホームページで「FAQ（よくある質問）」をご覧ください。
http://tablet.wacom.co.jp/support/faq/
4. 製品 Q&A（よくあるご質問と回答）をご確認ください。
5. 本機と新しいハードウェアまたはソフトウェアで互換性の問題が発生した場合は、ドライバの更新を参照して最新版のタブレットドライバのダウンロード情報をご確認ください。ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。
6. 本機のテストを行います。
7. 本書で解決のポイントを読んでも、問題が解決しそうにない場合、ワコムサポートセンターにお問い合わせください。サポート情報については、テクニカルサポートをご覧ください。

本機のテスト
操作と入力デバイスのテスト
トラブルシューティング
ペンタブレットのトラブルシューティング情報
テクニカルサポート
ドライバの更新

本機のテスト

1. 本機のステータスランプが点灯しない場合は、以下をご確認ください。
   - AC アダプタがコンセントに正しく接続されているかご確認ください。
   - AC アダプタのケーブルが本機に正しく接続され、本機の電源がオンになっていることをご確認ください。電源がオンになっているときは、ステータスランプが白く点灯します。薄く点灯している場合は、ビデオ信号が入力されています。電子ペンで画面にタッチすると、光が強くなります。

   重要：必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外をご使用になると、本機が破損する場合があります。
2. 画面に何も表示されない場合は、以下を確認してください。
   - コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。正しいビデオ信号が入力されると、ステータスランプは白く点灯します。
   - 本機が有効なデジタルビデオポートに接続されていることをご確認ください。
   - お使いのグラフィックボードが正しくセットされ動作していることをご確認ください。お使いのグラフィックボードと互換性がある別のディスプレイをお持ちなら、そのディスプレイをグラフィックボードに接続して正しく動作することを確認できます。
3. 本機の画面上で電子ペンが正常に使えることを確認してください。
   - ペン先を画面に押し当て、ステータスランプがより明るく点灯することをご確認ください。
   - ステータスランプがより明るく点灯しない場合は、USB 接続ケーブルが有効な USB ポートに接続されているかご確認ください。本機を USB ハブに接続している場合は、コンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
   - 接続中の USB ポートが有効であることをご確認ください。USB ポートが有効かどうかを確認するときはご使用のシステムの BIOS 設定の確認を行ってください。
4. 画面上で電子ペンを操作できないときは、以下のテストを行ってください。
   - ペン先またはテールスイッチを画面に押し当てて、ステータスランプがより明るく点灯することを確認してください。
   - 筆圧を加えずに電子ペンを画面から 5 mm 以内に近づけサイドスイッチを押して、ステータスランプがより明るく点灯することを確認してください。
   - 以上のテストでステータスランプがより明るく点灯しない場合は、本機に対応していないペンを使っていないかご確認ください。
   - 詳細は、操作と入力デバイスのテストおよび電子ペンのテストを参照してください。
5. ファンクションキーおよびリングキーのチェックを行ってください。操作と入力デバイスのテストおよびファンクションキー、リングキー、ホームボタンのテストを参照してください。
6. オプションのエアブラシなどその他入力デバイスがあればチェックしてください。操作と入力デバイスのテストを参照してください。

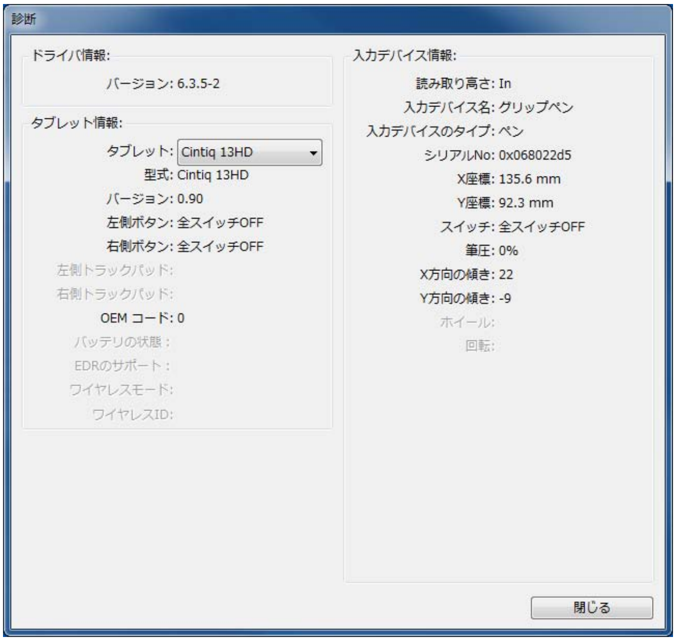
症状が回復しない場合、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。

操作と入力デバイスのテスト

電子ペンや本機の機能が正常に動作しない場合は、割り当てられている機能を確認する、またはそれぞれの設定をリセットすることをお勧めします。

電子ペンの標準設定を簡単に初期設定に戻すには、コントロールパネルの「入力デバイス」リストでペンを選択し [-] ボタンをクリックして、リストから「ペン」を削除します。続いて電子ペンのペン先を本機の画面に近づけると、「ペン」が再び標準設定で「入力デバイス」リストに追加されます。

- コントロールパネルを開き、「タブレットについて」ボタンをクリックします。表示されるダイアログボックスから「診断」をクリックします。「診断」ダイアログボックスには本機とご使用の入力デバイスに関する情報が表示されます。



- コンピュータに複数のペンタブレットが接続されている場合は、「タブレット情報」欄でテスト中の製品を選択してください。
- 本機および電子ペンのテスト時に「診断」ダイアログボックスに表示される情報を使用してください。

補足： 入力デバイスのデバイスボタンに「ラジアルメニュー」または「開く / 起動」が割り当てられている場合、デバイスボタンを押すとその機能が実行されます。このような場合、テストの前にデバイスボタンの機能を変更してください。

ファンクションキー、リングキー、ホームボタンのテスト
電子ペンのテスト

ファンクションキー、リングキー、ホームボタンのテスト

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」から「診断」ダイアログボックスを開いて、「タブレット情報」欄を確認しながらファンクションキーまたはリングキーをテストします。必ず「タブレット情報」欄からテスト中のタブレットを選択してください。
2. ファンクションキー、リングキー、ホームボタンをひとつずつ押してテストします。キーやボタンを押す度に、テスト対象のキーに応じて、「左ボタン」または「右ボタン」カテゴリーの横に対応する番号が表示されます。
3. 終了したら、「閉じる」ボタンを押してダイアログボックスを終了します。

重要：ソフトウェアによっては、ファンクションキーやリングキーの機能があらかじめ設定されている場合があります。ファンクションキーまたはリングキーのテストを行う際は、タブレットのコントロールパネル以外の起動中のソフトウェアをすべて閉じるようにしてください。詳細は、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。

電子ペンのテスト

1. 「ワコムタブレットのプロパティ」から「診断」ダイアログボックスを開いて、「診断」ダイアログボックスの「入力デバイス情報」欄を確認しながらペン先を画面から 5 mm 以内に近づけます。「読み取り高さ」、「入力デバイス名」、「入力デバイスのタイプ」、「シリアル No.」が表示されます。必ず「タブレット情報」欄からテスト中のタブレットを選択してください。
2. 本機の操作エリアで電子ペンを移動させると、X 座標と Y 座標のデータの値が、ペン先の位置を反映して変化します。
3. 電子ペンの機能をテストします。ペン先でクリックしたり、サイドスイッチやテールスイッチをペンタブレットの上で押したりすると、本機のステータスランプがより明るく点灯します。
   - 画面をペン先でクリックします。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100% の範囲で変化します。
   - 画面にペン先を押し当てずにサイドスイッチを押すと「スイッチ」の状態が変わります。電子ペンの場合は、両方のスイッチでこれを行ってください。

電子ペン スイッチの状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ（下側）= 2 サイドスイッチ（上側）= 3 テールスイッチ（消しゴム）= 1
エアブラシ スイッチの状態	ペン先 = 1 サイドスイッチ = 2 テールスイッチ（消しゴム）= 1

   - 画面にテールスイッチを押し当てます。「スイッチ」の状態と「筆圧」の値が変化します。筆圧は圧力が全くかかっていない状態から最大圧力をかけた状態まで、0% から 100% の範囲で変化します。
   - オプションのエアブラシの場合は、ホイールを前に進めます。いっぱいまで進めると「ホイール」の値がおよそ 0 まで低下するはずです。次にホイールを反対方向に進めます。いっぱいまで戻すと「ホイール」の値はおよそ 1000 まで上昇するはずです。

4. X 軸方向の傾きをテストします。「X 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置から右方向へ傾けると、およそ 0 から +60 まで変わります。電子ペンを垂直位置から左方向へ傾けると、「X 方向の傾き」の値は、およそ 0 から -60 まで変わります。
5. Y 軸方向の傾きをテストします。「Y 方向の傾き」の値は、電子ペンを垂直位置からペンタブレットの手前に傾けると、およそ 0 から +60 まで変わります。電子ペンを垂直位置からペンタブレットの向こう側へ傾けると、「Y 方向の傾き」の値は、およそ 0 から -60 まで変わります。
6. オプション品のアートペンをテストする場合は、ペン先を画面に押し当て、ペン軸を中心にゆっくりと回転させてペンの回転をテストします。ペンを回転させるにつれ、「回転」の値が変化します。
7. 終了したら、「閉じる」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

トラブルシューティング

本機のディスプレイ部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。色の問題の詳細については、ご使用のオペレーティングシステムまたはソフトウェアに付属の取扱説明書を参照してください。

一般的な問題

画像が表示されない。ステータスランプが点灯しない。	• 電源ケーブルが正しく接続されているか、本機の電源スイッチがオンになっているかをご確認ください。 • 「ワコムディスプレイ設定」ダイアログでコントラストと明るさを調整するか、「詳細設定」→「標準設定リセット」を選択して元の設定に戻します。
ステータスランプが点滅している。	• お使いのコンピュータが省電力状態になっている可能性があります。ペン先を画面に当てたり、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。 • コンピュータ、および本機の電源を切り、ディスプレイケーブルが折れ曲がっていたり、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。次にディスプレイケーブルを正しく接続して、本機とコンピュータの電源を入れてください。 • コンピュータとケーブルが正しく装着されているかをご確認ください。
「cable disconnect go to power save」というメッセージが画面に表示される。	• コンピュータの電源が入っているかをご確認ください。 • 本機に付属のディスプレイケーブルを使用しているかをご確認ください。 • ディスプレイケーブルがしっかりと接続されているかをご確認ください。 • コンピュータ、および本機の電源を切り、専用接続ケーブルの折れ曲がりや、コネクタピンが破損していないかをご確認ください。そして専用接続ケーブルを正しく接続します。
「out of range」というメッセージが短く画面に表示される。	• 入力信号周波数の設定が正しくないか、本機と適合していません。コンピュータのリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。周波数範囲の詳細については「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。 • 表示解像度あるいはリフレッシュレートの設定が本機の対応範囲を超えています。本機で使用可能な表示解像度、リフレッシュレートなどの詳細については「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。 • 「プラグアンドプレイモニタ」を検出するように、画面のプロパティを設定します。
「set refresh range」というメッセージが短く画面に表示される。	• 本機のリフレッシュレートを 60 Hz に設定してください。周波数範囲の詳細については 「製品に関する重要なお知らせ」を参照してください。
画像が二重、三重に表示される。	ディスプレイケーブルを延長したり、入力切替器や映像分配器を使用したりすると、映像信号が劣化して画像が二重、三重に表示される場合があります。ご使用が原因で発生している場合は、ケーブルの延長や分配器の使用はお控えください。 ディスプレイケーブルの接続を確認してください。
同じ画像が長時間表示された後、残像が短時間続く。	残像は時間がたつと徐々にもとにもどります。スクリーンセーバーまたはコンピュータの省電力機能を使用することをおすすめします。

色の具合がおかしい。	• 「ワコムディスプレイ設定」ダイアログで「詳細設定」→「Factory reset」を選択して元の設定に戻します。 • コントラストの設定変更は色の精度に影響するため、コントラスト設定の変更は少しずつ行ってください。
白色がきれいに表示されない。	• 画面の設定がお買い上げ時の状態か確認し、設定が不十分な場合は色の設定を調整してください。 カラーマネジメントの詳細は、ご使用中のオペレーティングシステムとソフトウェアの取扱説明書を参照してください。 • ディスプレイケーブルがしっかりと接続されているかをご確認ください。

ペンタブレットのトラブルシューティング情報

本機のタブレット部で問題が発生した場合は、以下の表を参照し解決を試みてください。
より詳細な情報については、ワコムのホームページにアクセスしてください。http://www.wacom.com/support

Windows での問題
Mac での問題

本機の USB ハブに接続した USB デバイスが機能しない。	• 本機の USB ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 • 本機の電源がオンで、ステータスランプが白く点灯していることを確認してください。本機の USB ポートは、電源が切れていると機能しません。 • コンピュータの USB ポートに USB デバイスを直接接続してみてください。 • 以上の操作を行っても USB デバイスが正常に機能しない場合は、各 USB デバイスのメーカにお問い合わせください。
ステータスランプが点灯しない。	• 本機の電源が入っているかをご確認ください。 • AC アダプタが本機とコンセントの両方に正しく接続されていることを確認してください。 • 必ず本機に付属の AC アダプタをご使用ください。付属品以外の AC アダプタを使用すると本機が故障するおそれがあるので、使用しないでください。
電子ペンがマウスモードでのみ動作する。筆圧機能を使って線が描けない。	タブレットドライバがインストールされていないか、または適切に読み込まれていません。 • タブレットドライバがインストールされていることを確認してください。 • タブレットドライバがインストールされていない場合は、ステップ 2：タブレットドライバのインストールを参考にタブレットドライバをインストールしてください。
筆圧機能が使えない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。ペンで画面をタッチし、筆圧レベルのインジケータが筆圧に応じて上下するか確認してください。 • ソフトウェアによっては、電子ペンを使う前に筆圧機能をオンにする必要があるものもあります。 • お使いのソフトウェアが筆圧に対応しているかも確認してください。
クリックが利かない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」を柔らかくしてください。
電子ペンがあらゆるものを選択して、止まらない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。「ペン先の感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。正常に戻らない場合は、操作と入力デバイスのテストを参照してください。

ダブルクリックが利かない。	• 同じ場所をすばやく 2 度軽くたたいてみてください。 ワコムではサイドスイッチを使ってダブルクリックすることをお勧めしています。 • コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ダブルクリック距離」を長くするか、「ペン先の感触」を柔らかく設定してください。 • ファンクションキーを「ダブルクリック」に設定します。 • Windows の場合：1 回のクリックでプログラムが起動するよう設定できます。クリックを参照してください。
消しゴムがあらゆるものを選択する。消し続ける。	コントロールパネルを開き、「テールスイッチ」タブを選択します。 「消しゴムの感触」スライダを「硬い」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「クリック圧」の設定を大きくします。正常に戻らない場合は、操作と入力デバイスのテストを参照してください。
ペンのストロークまたはインクのストロークの開始が遅れる。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ダブルクリック距離」を小さくしてください。正常に戻らない場合は、「ダブルクリック距離」スライダを「OFF」にドラッグして、ダブルクリックアシストをオフにします。
ペン先を強く押さなければ、クリックや描画、書き込みができない。	コントロールパネルを開き、「ペン」タブを選択します。 「ペン先の感触」スライダを「柔らかい」方へ移動させるか、「カスタマイズ」を選択し、「筆圧感度」と「クリック圧」の設定を小さくします。
ペン先が利かない。	• 必ず本機に付属の電子ペンまたは本機に対応した電子ペンのみをご使用ください。 付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 • コントロールパネルの「ペン」タブで、「クリック」機能がペン先に割り当てられていることを確認してください。 • ペン先を押したとき、ステータスランプがより明るく点灯することを確認してください。より明るく点灯しない場合、USB ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 • 以上を行ってもランプがより明るく点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます。（トラブルシューティング）を参照してください。）
ペン先とポインタがずれる。	コントロールパネルを開き、「調整開始 ...」を選択します。ペン先の位置調整に進んでください。
入力デバイスの機能設定を変更しても反映されない。	使用中の入力デバイスとソフトウェアに対して設定変更を行っているか確認してください。特定のソフトウェアに対する設定と複数の入力デバイスで使うも参照してください。

電子ペンのサイドスイッチが利かない。	• 必ず本機に付属の電子ペンまたは本機に対応した電子ペンをご使用ください。付属品以外の電子ペンは、本機では正常に動作しない場合がありますので、使用しないでください。 • ペン先が画面の読取可能範囲から 5 mm 以内にある状態でサイドスイッチを押してください。ペン先で画面を押さずに行います。 • コントロールパネルで、サイドスイッチが使用中のソフトウェアと電子ペンで実行する機能に設定されていることを確認してください。 • 「サイドスイッチエキスパートモード」も確認してください。「ペン先とともにクリック」が選択されている場合は、クリック操作を行うためには、サイドスイッチを押しながらペン先を画面にタッチさせる必要があります。 • サイドスイッチを押すとステータスランプがより明るく点灯することを確認してください。点灯しない場合、USB ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されているか確認してください。 • 以上を行ってもランプがより明るく点灯しない場合は、電子ペンまたは本機の故障が考えられます（トラブルシューティングを参照してください）。
ポインタは動かせるが、ペン先を画面に置いてもペン先の位置にジャンプせず、ペン先の動きに連動しない。	• コントロールパネルを開きタブレットドライバが正しくインストールされているか確認します。インストールされていない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、コンピュータを再起動しステップ 2：タブレットドライバのインストールの説明を参考にタブレットドライバを再インストールしてください。（Mac の場合は、タブレットドライバをインストールした後、コンピュータを再起動してください。） • 電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定している場合は、本機がペンモードで作動しているか確認してください。
マルチディスプレイ環境で本機を使用している場合に、電子ペンで他の複数のディスプレイを操作できない。	• マッピング画面切り替えに設定したファンクションキーまたは電子ペンのサイドスイッチを押して、操作できるディスプレイを切り換えてください。 • マウスモードで電子ペンを使って、他のディスプレイを操作することもできます。マウスモードにするには、電子ペンのサイドスイッチでペンモードとマウスモードの切り替えを行うよう設定し、サイドスイッチを押してペンモードとマウスモードを切り替えてください。
描いた線とポインタの位置が合わない。	• 電子ペンがペンモードに設定されていないと正しく機能しません。電子ペンがマウスモードに設定されていないことを確認してください。 • ペンモードに設定されても問題が解決しないときは、環境設定ファイルが壊れている可能性があります。Windows での問題または Mac での問題のトラブルシューティング指示に従って、新しい環境設定ファイルを作成してください。 • タブレットドライバがインストールしているか確認してください。
コンピュータが省電力状態にならない。	電子ペンを使用しないときは、画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。
マウスまたはトラックボールの使用中、ポインタが急に引き戻される。	電子ペンを使用しないときは、専用のペンケースまたはペンスタンドに立てるか、本機の近くに横にして置いてください。電子ペンは画面上に置いたままにしないでください。他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。

コンピュータに別のペンタブレットが接続されているとき、ポインタが不規則に動いたり、画面上で跳び回ったりする。	別のペンタブレットを本機に近づけすぎると、ポインタの位置決めができなくなったり、電子ペンを使用していないのに電子ペンで操作した状態になることがあります。この現象が起こった場合は、本機と別のペンタブレットを離してください。
一部のソフトウェアで、コントロールパネルでファンクションキー、リングキー、ホームボタンに設定したものとは異なる機能が実行される。	• ソフトウェアによっては、ファンクションキー、リングキー、ホームボタンの機能があらかじめ設定されている場合があります。タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使うを参照してください。 • 特定のソフトウェアに対する設定を使用している場合は、目的のソフトウェアに対して設定の更新を行ったかどうか確認してください。
コントロールパネル上のファンクションキー、リングキー、ホームボタンの標準設定がマニュアルに記載のものと異なる場合がある。	地域によって、ソフトウェアやオペレーティングシステムの違いによりコントロールパネルの標準設定が異なる場合があります。

Windows での問題

本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。

「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、ご使用中の設定を削除してください。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、

Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルをクリックします。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面を開きます。

Windows 7 / Vista/ XP の場合：「スタート」メニューをクリックし、「すべてのプログラム」から「ワコムタブレット」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択します。

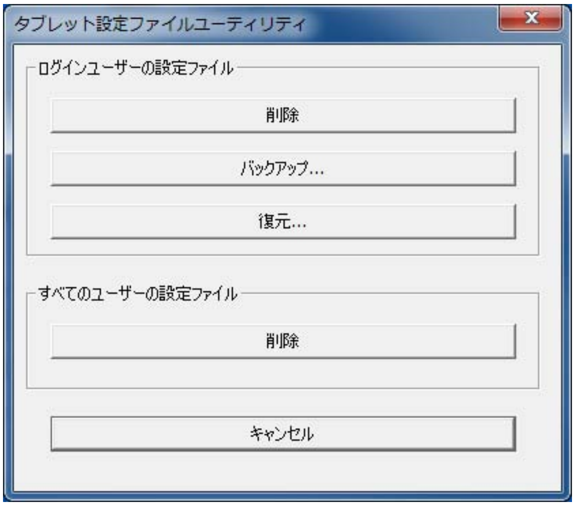
- 現在のペンタブレットの設定を維持したい場合は、最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「タブレット設定ファイルユーティリティ」ダイアログボックスで、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作してください。
- 「タブレット設定ファイルユーティリティ」を使用して、次のようにタブレット設定を削除します。

  シングルユーザの場合：「ログインユーザの設定ファイル」で「削除」をクリックして現在のユーザの設定ファイルを削除します。

  マルチユーザの場合：「全てのユーザの設定ファイル」で「削除」をクリックしてマルチユーザの設定を削除します。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。

「ログインユーザの設定ファイル」の「復元 ...」をクリックして、バックアップしたタブレット設定を復元できます。

設定ファイルのバックアップと復元については、「タブレット設定ファイルの管理」をご覧ください。



Mac での問題

コンピュータの起動時、タブレットドライバがロードできなかった、または本機の設定がまだ作成されていないという内容のダイアログボックスが表示される。	起動時に、本機が認識されませんでした。USB ケーブルがコンピュータの有効な USB ポートに正しく接続されていることを確認してください。本機のステータスランプが白く点灯していることを確認してください。問題が解決しない場合は、トラブルシューティングをご覧ください。 「移動」メニューから「ユーティリティ」を選択し、「システムプロファイラ」(10.8 の場合は「システム情報」)を起動し、「内容」一覧の「ハードウェア」から USB を選択してください。ワコム製ペンタブレットが一覧表示されます。表示されない場合、本機の USB 接続を確認するか、本機を別の USB ポートに接続してみてください。 問題が解決されない場合は、ワコムサポートセンターにご連絡ください。テクニカルサポートを参照してください。
本機の設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態にもどしたい。	「ワコムタブレットユーティリティ」からご使用中の環境設定を削除してください。起動中のソフトウェアをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開いてから「ワコムタブレット」フォルダから「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。 • 最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「ワコムタブレットユーティリティ」では、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」を選択します。次に、「バックアップ ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。 • 以下の手順でタブレット設定を削除します。 シングルユーザの場合:ユーティリティが起動したら「ログインユーザ」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。本機のドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。 マルチユーザの場合:ユーティリティが起動したら「すべてのユーザ」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。本機のドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。 ユーティリティ内の「復元 ...」をクリックして、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。 補足:「WacomTablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、また「ワコムタブレットユーティリティ」を使用する場合にのみ削除します。 再度、ポインタの位置調整をします。ペン先の位置調整をご覧ください。

Ink が、本機で正しく動作しない。	Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。次のようにして、問題のある設定ファイルを削除してください。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルが再作成されます。 1. 「システム環境設定」を開き、「すべてを表示」を選び、「Ink」を選択します。次に「手書き認識」を「切」にします。 2. 「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。次の設定ファイルを削除します。 • com.apple.ink.framework.plist • com.apple.ink.inkpad.plist • com.apple.ink.inkpad.sketch 3. 再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。 4. 本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。 この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のソフトウェアに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。

テクニカルサポート

本機に問題がある場合は、初めに本書の本機のセットアップをご覧いただき、本機が正しくセットアップされていることを確認してください。次にトラブルシューティングをご覧ください。

本書で解決策が見つからない場合、本機の「Read Me」（お読みください）ファイル（タブレットドライバ CD-ROM にあります）にお客さまの問題に関する最新情報が記載されている場合があります。ワコムのホームページの FAQ（よくあるご質問と回答）もチェックしてください。

インターネットに接続されている場合は、ワコムのホームページから最新のタブレットドライバをダウンロードできます。ドライバの更新を参照してください。

ホームページにある FAQ（よくあるご質問と回答）ページをチェックしてください。こちらで問題が解決する場合があります。

問題が解決されず、本機が正しく動作していないと思われる場合、ワコムサポートセンターにご連絡ください。連絡先についてはホームページ、または本書の「Wacom International Offices」に記載しています。

お電話によるサポートを受けられる場合、次の情報をご用意の上、本機およびコンピュータの近くからお電話ください。

- 本書
- シリアル番号（本体の背面をご覧ください）
- タブレットドライバのバージョン（タブレットドライバ CD-ROM をご覧ください。あるいはコントロールパネルの「タブレットについて」をクリックしてください。）
- コンピュータの製造元と型式、およびオペレーティングシステムのバージョン
- お使いのグラフィックボードの製造元と型式、および接続のタイプ
- コンピュータに接続された周辺機器のリスト
- 問題が発生したとき、使用していたソフトウェアとバージョン
- 画面に表示された正確なエラーメッセージ
- 問題が発生したとき、具体的に何が起こったか、起こったことをどのように処置したか
- どのように問題を解決しようとしたか

また、ワコムのホームページから電子メール問合せフォームに記入していただき、ワコムサポートセンターにお問い合わせいただくことも可能です。

ドライバの更新

ワコムでは定期的にタブレットドライバの更新を行い、新製品との互換性を維持しています。機能を最適に使用するためにドライバを定期的に更新することをお勧めします。新しいタブレットドライバ（利用可能な場合）は、ワコムのホームページからダウンロードできます。

カスタマーケア、製品ドライバ、その他のソフトウェア更新については、ワコムのホームページにアクセスしてください。http://tablet.wacom.co.jp/download

よくあるご質問と回答

この章には、本機についてよく寄せられる質問とその回答を記載しています。本書に記載のない質問と回答についてはワコムのホームページをご覧ください。

Cintiq はあらゆるソフトウェアで使用できますか？
Cintiq の機能に対応しているソフトウェアは？
Cintiq とマウスを同時にコンピュータに接続できますか？
これまでのワコムの入力デバイスを Cintiq と一緒に使用できますか？
Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？
電子ペンと画面のポインタが一致しません。なぜですか？
Cintiq の設定ファイルを標準設定に戻すにはどうすればよいですか？
すべての設定ファイルを一度に削除できますか？
Cintiq の最適なお手入れのしかたを教えてください。
電子ペンのペン芯を交換するにはどうすればよいですか？
スペアパーツや付属品はどこで入手できますか？
型番とシリアル番号はどこで確認できますか？

Cintiq はあらゆるソフトウェアで使用できますか？

Cintiq はすべてのソフトウェアでの一般的なマウス入力機能に対応しています。製品ドライバがインストールされ正常に機能していれば、筆圧や消しゴム機能も多くのグラフィックソフトウェアでサポートされます。

Cintiq の機能に対応しているソフトウェアは？

多くのソフトウェアがワコム製品の筆圧・消しゴム入力に対応しています。

ワコムのホームページで対応ソフトウェアをご確認ください。ご使用のソフトウェアが一覧にない場合は、本機で使用してみて、電子ペンで描画する際に圧力変化が感知されているかどうか確認してください。特定のソフトウェアがサポートしている電子ペン入力機能については、ソフトウェアのメーカにお問い合わせください。

Cintiq とマウスを同時にコンピュータに接続できますか？

はい。マウスとワコム製品は同時にご使用いただけます。ただし、複数のデバイスで同時にポインタを操作することはできません。用途に応じて、本機の入力デバイスとマウスを使い分けてください。

これまでのワコムの入力デバイスを Cintiq と一緒に使用できますか？

通常、電子ペンなどの付属品は、それらが付属している製品でのみ使用できます。このため、他の製品では使用できない可能性があります。詳しくはワコムサポートセンターまでお問い合わせください。

Cintiq のタブレットドライバをインストールしている途中、システムにパスワードを要求されました。パスワードとは何でしょうか？

ログインのためのユーザーパスワード、またはシステム管理者のパスワードです。会社のコンピュータをお使いの場合には、タブレットドライバのインストールにシステム管理者の権限が必要な場合があります。この場合は、管理者のアクセス権を持っているか確認のために、オペレーティングシステムがパスワードを要求しています。

電子ペンと画面のポインタが一致しません。なぜですか？

「ペン先の位置調整」が必要です。タブレットドライバを再インストールした場合や本機の設定ファイルを削除した場合にはペン先の位置調整を行ってください。ペン先の位置調整を参照してください。

Cintiq の設定ファイルを標準設定に戻すにはどうすればよいですか？

タブレット設定ファイルの管理を参照してください。

すべての設定ファイルを一度に削除できますか？

はい。タブレット設定ファイルの管理を参照してください。

Cintiq の最適なお手入れのしかたを教えてください。

本機のお手入れを参照してください。

電子ペンのペン芯を交換するにはどうすればよいですか？

ペン芯を交換するを参照してください。

スペアパーツや付属品はどこで入手できますか？

オプション品の注文を参照してください。

型番とシリアル番号はどこで確認できますか？

本体の背面にラベル表示されています。通常、型番はバーコードの上、シリアル番号はバーコードのすぐ下に表示されています。ワコムサポートセンターに連絡する際、必ず機種番号とシリアル番号が必要になります。

お手入れのしかた

本章には、本機のお手入れのしかたについてのヒントを記載しています。

本機のお手入れ
ペン芯を交換する

本機のお手入れ

電子ペンと本機の液晶画面は清潔にお使いください。ちりや砂ぼこりは、画面の表面を傷つけます。定期的に清掃していただくことで、液晶画面と電子ペンを長い期間ご利用いただくことができます。

本機と電子ペンは清潔に、涼しい場所で、極端な温度変化を避けて保管してください。室温が最適です。また、ペンを保護するため、使用時以外は専用のペンケースまたはペンスタンドに立てておいてください。

本機と電子ペンは分解可能な製品ではありません。本機を分解すると、保証が無効になります。

重要：本機や電子ペンに液体をこぼさないように注意してください。液晶画面やリングキー、ファンクションキー、サイドスイッチ、ペン先には、液体が入ると故障するデリケートな電子部品が入っています。これらを濡らさないように、特に注意してください。

ペン芯は頻繁に交換して画面に傷がつかないようにしてください。ペン芯が摩耗したり鋭くなると本機が損傷するおそれがあります。ペン芯を交換するを参照してください。

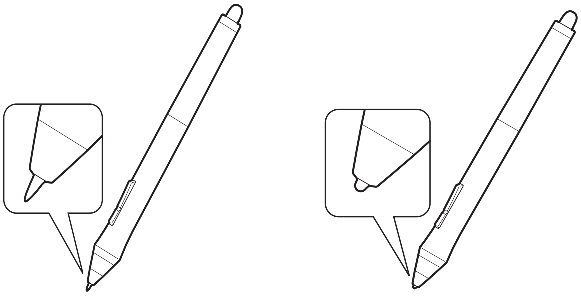
本体や電子ペンの清掃をするときは、柔らかい湿らせた布で拭いてください。水で薄めた刺激の少ないせっけんで布を湿らせて使うこともできます。アルコール、シンナー、あるいはベンゼンのような揮発性の液体は、本体を傷めますので使用しないでください。

液晶画面の清掃には帯電防止布または軽く湿らせた布をご使用ください。液晶画面を軽く押す程度にし、表面を濡らさないようにしてください。液晶画面が故障するおそれがありますので、洗剤は使用しないでください。このような故障はメーカの保証の対象外となります。

ペン芯を交換する

本機を保護し最適な性能を得るため、ペン芯は定期的に交換してください。

重要：次のような状態になる前、またはこのような状態が見られた場合はペン芯を交換してください。

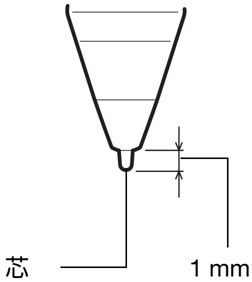


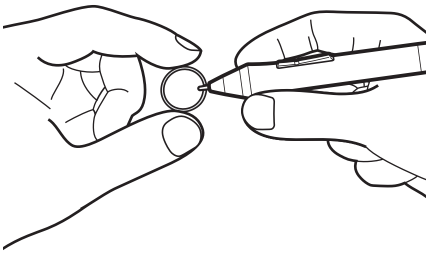
ペン芯（ペン先）は、使っていく間に磨り減っていきます。

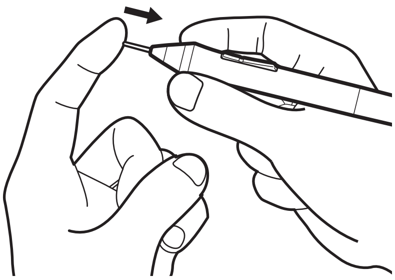
過度な力を加えると、より早く磨耗します。

短すぎ、または端部がフラットになってきたらペン先を交換します。

1. ペン芯を交換するには、芯抜き、ピンセットなどで芯を挟んで、ペンからまっすぐに引き抜きます。
2. 新しいペン芯を同じように挟んでペンの端部に取り付けます。
3. 新しいペン芯を電子ペンにまっすぐにはめ込みます。止まるまでしっかりと押し込んでください。







⚠ 警告

お子様が替え芯やサイドスイッチを飲み込まないようにしてください。電子ペンを口の中に入れると、ペン先やサイドスイッチが抜け落ちてしまう可能性があります。

交換用パーツについてはオプション品の注文を参照してください。

重要：

- 電子ペンを使用しないときは、専用のペンケースまたはペンスタンドに立てるか、机の上に横にして置いてください。
- オプションのエアブラシを使用しないときは、机の上に横にして置いてください。
- 電子ペンの感度を維持するため、ペン先や消しゴムが押された状態になるような状態で保管しないでください。ペン先の筆圧センサーが故障するおそれがあります。

その他のお役立ち情報

この章では、本機の設定ファイルの管理、ドライバのアンインストールなどの方法を説明します。

ドライバのアンインストール
タブレット設定ファイルの管理
複数ペンタブレットの設置
タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う
上級者向け設定を組み込む
Windows でのペンおよびデジタルインク機能
製品情報
オプション品の注文

ドライバのアンインストール

タブレットドライバをシステムから削除する場合は以下の手順に従ってください。

重要：タブレットドライバを削除すると本機の機能は使用できなくなりますが、マウスとしては使用できます。

Windows 8 の場合：

1. Windosw 8 のスタート画面で左下隅を右クリックし、ポップアップメニューから「コントロールパネル」を選択します。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面にアクセスしてください。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」を選択します。
3. 「ワコムタブレット」を選択して「削除」をクリックします。

Windows 7/Vista/XP の場合：

1. 「スタート」をクリックして「コントロールパネル」を選択します。
2. 「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除」をクリックします。
3. 「ワコムタブレット」を選択して「削除」をクリックします。

補足：アンインストールを有効にするためにコンピュータを再起動しなければならない場合があります。

Mac の場合：

1. 「移動」メニューから、「アプリケーション」を選択し、「ワコムタブレット」フォルダを開きます。
2. 「ワコムタブレットユーティリティ」アイコンをダブルクリックし、「タブレットドライバ：削除」をクリックして、管理者のユーザ名とパスワードを入力します。
3. 削除が完了したら、「OK」をクリックします。
4. コンピュータをシャットダウンして本機の電源をオフにします。

最新のタブレットドライバのダウンロードについてはドライバの更新を参照してください。

タブレット設定ファイルの管理

ワコムタブレット設定ファイルユーティリティを使用すると、シングルユーザまたはマルチユーザの設定ファイルの管理が行えます。

起動中のソフトウェアをすべて閉じます。

Windows 8 の場合：Windows 8 の「スタート」画面から「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」タイルをクリックします。Windows 8 のクラシックデスクトップを使用している場合は、キーボードの Windows キーを押すかチャームバーの Windows アイコンを選択して「スタート」画面にアクセスしてください。

Windows 7/Vista/XP の場合：

1. 「スタート」アイコンをクリックして「すべてのプログラム」を選択します。
2. 「ワコム」→「ワコムタブレット設定ファイルユーティリティ」を選択し、次のようにすべての Windows 設定を行います。

- ログインユーザの設定ファイルを削除するには、「ログインユーザの設定ファイル」から「削除」ボタンをクリックします。
- マルチユーザの設定ファイルを削除するには、「全てのユーザの設定ファイル」から「削除」をクリックします。すべてのユーザの設定ファイルを削除するには、管理者権限が必要です。最後に現在開いているタブレット用ソフトウェアを再起動してください。
- 現在の設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザの設定ファイル」から「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザの設定ファイル」から「復元 ...」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

Mac の場合：「アプリケーション」フォルダを開いて、「ワコムタブレット」フォルダから「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。

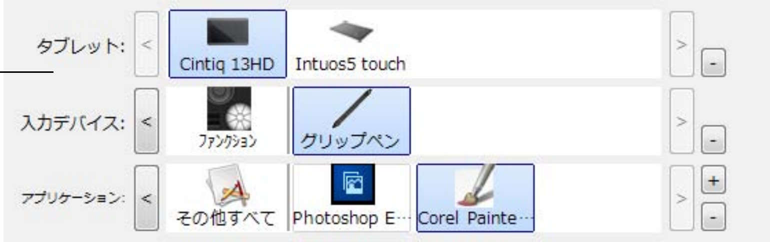
- 設定ファイルを削除するには、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」のいずれかを選択してから「削除」をクリックし、ログアウトしてから再度ログインします。タブレットドライバが読み込まれると、新しい設定ファイルが標準設定で作成されます。
- 設定ファイルをバックアップするには、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」のいずれかを選択してから、「バックアップ ...」をクリックします。
- 以前にバックアップを行った設定ファイルを復元するには、「ログインユーザ」または「全てのユーザ」のいずれかを選択してから、「復元 ...」をクリックします。
- 表示されるダイアログの内容を確認してから、実行してください。

複数ペンタブレットの設置

システムで検出済みのタブレットはコントロールパネルの「タブレット」リストにアイコンで表示されます。

入力デバイスとソフトウェアの設定をカスタマイズするタブレットのアイコンを選択します。

- コントロールパネルは、サポートしているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは起動しません。
- 接続しているペンタブレットの設定を閲覧または変更することができます。



新しいペンタブレットを追加する場合は、ペンタブレットをコンピュータに接続します。システムが自動でペンタブレットを検出し初期化します。ペンタブレットのアイコンがコントロールパネルに表示されます。

> 重要：複数のペンタブレットを Windows システムに追加した場合、ソフトウェアによっては、追加したペンタブレット使用時に消しゴム機能が使用できないことがあります。最初にコントロールパネルに認識されたペンタブレットでは使用できます。

ドライバから複数あるタブレットのうちの 1 つを削除するには、削除するタブレットのアイコンを選択し、「タブレット」リストの隣の [-] ボタンをクリックします。

- サポートされているペンタブレットがコンピュータに接続されていないときは、「タブレット」リストから削除することはできません。
- ペンタブレットをコントロールパネルに再度追加するには、コンピュータを再起動する必要があります。

タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う

ソフトウェアによっては、ペンタブレットのファンクションキーまたはタッチホイール機能を直接操作するように設計されているものがあります。この処理を組み込んだソフトウェアで作業を行う場合、ファンクションキーまたはタッチホイールは、コントロールパネルで設定されている機能とは異なる働きをする場合があります。

- ファンクションキーの機能がソフトウェアによって書き換えられた場合、ファンクションキーの設定は自動的に更新され、新しい機能名が付けられるか、あるいは「アプリケーションの設定に従う」と表示されます。ソフトウェアによってはファンクションキーのいくつか、またはすべてがソフトウェアにより書き換えられることがあります。
- タッチホイールの機能がソフトウェアによって置き換えられた場合、すべてのタッチホイール機能がその影響を受けます。ソフトウェアがタッチホイール機能の一部のみを置き換える場合、その他の機能は「スキップ」に設定されます。
- ソフトウェアは実行中または画面の最前面にある場合のみ、ファンクションキーやタッチホイールの機能をコントロールします。そのソフトウェアを終了するか別のソフトウェアのウィンドウを選択すると、コントロールパネルの設定は以前の状態に戻ります。
- 画面の最前面にあるソフトウェアでファンクションキー、タッチホイール、または電子ペンの機能設定を確認するには、ファンクションキーの１つに「設定内容の表示」を設定し必要に応じてそのキーを押します。

通常、このような処理を組み込んだソフトウェアでは、そのソフトウェアで最初にワコム製品を使用する際に、この機能を選択しないか無効にすることを選択できます。機能についての具体的な詳細、およびこの機能をカスタマイズする、または無効にする方法についてはソフトウェアに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェア操作時に表示される説明、またはソフトウェアの取扱説明書に、この機能を無効にする方法が記載されていない場合、コントロールパネルを使って、特定のソフトウェアに対する設定を作成し、タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアの動作に優先させることができます。タブレット設定ファイルの管理をご覧ください。

重要：特定のソフトウェアに対する設定をタブレットコントロールできる処理を組み込んだアプリケーションで作成した場合、「アプリケーションの設定に従う」をファンクションキーまたはタッチホイールに設定すると、このアプリケーションによってこれらの機能がコントロールされます。

上級者向け設定を組み込む

XML ファイルで提供される上級者向け設定を、コントロールパネルに組み込むことができる機能です。

- ソフトウェアの開発者によっては、ソフトウェアをワコム製品で使用する際に最適なパフォーマンスが得られるよう特別に設計された「カスタム設定ファイル」を作成する場合があります。
- XML ファイルには複数のソフトウェアに対するカスタマイズ設定が含まれている場合があります。この設定はファンクションキー、リングキー、ホームボタン、ラジアルメニュー、電子ペンのサイドスイッチ、テールスイッチなどに適用できる場合があります。

上級者向け設定の組み込み方

1. 特定のソフトウェアで使用する XML ファイル設定を選択してダブルクリックします。
2. 確認ダイアログの指示に従って操作を続けます。
   - ユーティリティにより 1 つまたは複数のソフトウェアの設定がインポートされ、該当するソフトウェアのこれまでの設定は上書きされます。
   - 上級者向け設定を組み込む前に、お使いのコントロールパネルの現在の設定をバックアップしておくことをおすすめします。
   - 設定の組み込みを中止することも、続けることもできます。
3. 設定を組み込むと、XML で記述された設定のみが組み込まれ、対応するすべての設定が更新されます。対応していない設定は更新されません。
4. 設定の組み込みが完了したら、コントロールパネルで新しい設定を確認することが出来ます。

Windows でのペンおよびデジタルインク機能

Microsoft Windows 8 および Windows 7 は、ペン入力に対応しています。デジタルインク機能は、Windows Starter および Home Basic 以外の Windows 8、Windows 7 の全エディションでサポートされています。本機と電子ペンを、素早く直観的な作業にご利用ください。

- 手書きメモ帳機能　Windows 8、Windows 7 および Windows Vista の「Windows Journal」をタブレットで操作すれば、手書きメモや図形をファイルに直接書き込むことができます。Journal 検索エンジンでは手書きの内容も検索できます。
- 手書き文字認識機能　コンピュータで文字入力ができる場面であればいつでも手書きで素早く入力し、テキストに変換できます。
- Office デジタルインク機能　対応ソフトウェアの「校閲」タブには、ペンタブレットを接続して手書き文字や図形を自由に書き込めるデジタルインク機能があります。ご活用ください。

Windows の入力パネルでは、電子ペンを使って手書きするか、画面上のキーボードでテキストを直接入力するかを設定できます。

以下のいずれかの方法で入力パネルを起動できます。

- 画面のポインタがテキスト操作エリアに移動すると表示される入力パネルのアイコンをクリックします。
- 標準設定で表示画面の左端に配置されている入力パネルのタブをクリックします。
- Windows のタスクバーに配置されている「Tablet PC 入力パネル」アイコンをクリックします。アイコンが見えない場合は、タスクバーを右クリックして、「ツールバー」、「Tablet PC 入力パネル」を選択します。

入力パネルの無効化は以下の手順で行います。

1. Tablet PC 入力パネルを開きます。
2. 「入力デバイス」→「オプション」を選択します。
3. 「開き方」タブを選択して次のボックスのチェックを外します。
   - 「タブレット ペン入力の場合、テキスト ボックスの横にアイコンを表示する」
   - 「入力パネル タブを表示する」
4. 「OK」をクリックします。

Windows でのペン入力機能の強化情報については Microsoft のホームページを検索してください。ワコムのホームページからも Windows のペン入力について検索ができます。http://www.wacom.com/

補足：ワコムタブレットドライバでは、Windows 7 での描画性能改善のために、下記の次善策をとっています。

- 性能改善のため、ペンフリックおよび「プレスアンドホールド」機能は、Photoshop など一部のグラフィックソフトでは無効になります。

製品情報

筆圧、傾き、消しゴムなどの本機の機能をサポートするソフトウェアや、Windows でのデジタルインク機能については、ワコムのホームページをご覧ください。

http://wacom.jp/

製品仕様

本機の仕様については、製品 CD 内の「製品に関する重要なお知らせ」に記載しています。

サポート窓口について

本製品についてのお問い合わせは、以下のワコムサポートセンターまたはサポートホームページで承ります。消耗品などのご購入には、ワコムストアをご利用ください。

サポート窓口のご案内

インターネット FAQ http://wacom.jp/jp/customercare/	皆様からのお問い合わせの多い内容を FAQ としてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。左のホームページからアクセスし、「よくあるご質問：FAQ」を選択してください。 インターネット FAQ より解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。
FAX によるサポート 03-5337-6514	タブレットやペンの操作についてのご質問、動作不良についてのご相談に FAX でお答えします。FAX でのお問い合わせ、修理のご依頼は、ユーザーズガイド（電子マニュアル）の「お問い合わせ／修理依頼」用紙をご利用ください。 注意： FAX でいただいたお問い合わせに関しては、弊社営業時間内に回答いたします。お問い合わせの内容によっては、ご返答に数日かかることがありますので、ご了承ください。
電話によるサポート ナビダイヤル 0570-05-6000	タブレットやペンの操作についてのご質問、動作不良についてのご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 9:00 ～ 20:00　土曜日 10:00 ～ 17:00 （日曜、祝日、および年末年始など弊社指定休日を除く） ユーザーズガイド（電子マニュアル）の「お問い合わせ／修理依頼」用紙の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて： ナビダイヤルは、NTT コミュニケーションズ株式会社のサービスです。ダイヤル Q2 などの有料サービスではありません。 この番号におかけいただいた場合は、電話接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前にお知らせいたします。 IP 電話および PHS からはご利用いただけません。また NTT 以外の電話会社をお使いの場合は、ナビダイヤルをご利用できないことがあります。下記の番号をご利用ください。 ⇒ TEL03-5337-6701

オプション品の注文

オプション品の情報はワコムホームページに掲載しております。
http://wacom.jp/

オプション品は、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」でお買い求めいただくことができます。
http://store.wacom.jp/

用語

読取可能範囲：電子ペンが検出される本機の描画エリア

特定のソフトウェアに対する設定：ソフトウェアごとに電子ペンと本機の設定をカスタマイズします。コントロールパネルを使って、目的のソフトウェアで特別に機能するようにカスタマイズします。特定のソフトウェアに対する設定は、設定したソフトウェアを使用すると必ず実行されます。

縦横比：ペンタブレット、またはディスプレイ画面の縦と横の比率。

クリック圧：クリックする時、ペン先にかかる力の大きさ。

ダブルクリックアシスト：ダブルクリック距離の大きさを設定することにより、ダブルクリックを簡単にする機能。

ダブルクリック距離：ペン先でダブルクリックするときに、2 回目のクリックがずれてもよい距離を画面のドット数で表します。ダブルクリック距離を大きくすると、ペン先でダブルクリックしやすくなりますが、グラフィックソフトウェアによっては、線の引きはじめにポインタがダブルクリック距離の外へ出るまで線が現れないことがあります。

消しゴム対応ソフトウェア：電子ペンの消しゴム機能をサポートしているソフトウェア。ソフトウェアによっては、テールスイッチ（消しゴム）を別の機能に使うことができます。

ファンクションキー：本機に備えられたカスタマイズ可能な操作キー。ファンクションキーの使い方を参照してください。

ホイール：オプションのエアブラシを操作するホイール。

設定表示ボタン：本機の機能ボタン。ファンクションキー、リングキー、ホームボタンの使い方を参照してください。

Windows Journal：紙のメモ帳の電子版で、デジタルノートの特長も備えた Microsoft Windows ソフトウェア。たとえば、簡単に描画や手書きのメモを作成して、テキストに変換した後、デジタルデータとしてほかの人たちに送ることができます。Windows Journal には、電子ペンの消しゴムで動作する消しゴム機能が備えられています。Windows Journal では、手書きのコンテンツも検索できます。

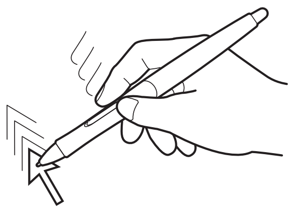
LED：発光ダイオード。本機の表示ランプに使用されています。

修飾キー：Windows では [Shift]、[Alt]、[Ctrl] キー、Mac では、[shift]、[control]、[command]、[option] キーの修飾キーがあります。電子ペンのサイドスイッチやファンクションキーは、修飾キーに対応するようカスタマイズできます。

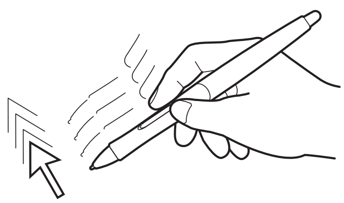
マウスの加速：ペンがマウスモードのとき、ポインタの加速を調節できます。

芯：ペン先で交換が可能な部分。

視差：保護ガラスあるいはその他の媒体を通して対象を見る場合の角度のずれのこと。
ポインタとペン先の位置が合っていない場合は、本機の位置調整を行い、画面上のポインタと電子ペンのペン先の位置を一致させる必要があります。



視差なし。ペン先とポインタの位置が合っている。



画面のガラスによる視差効果。ペン先とポインタの位置が合っていないのが分かる。

ペンモード：ポインタの位置決めの方法。電子ペンを本機の画面の上に置くと、画面のポインタが画面上の対応点にジャンプします。これは絶対的位置決めと言われ、すべてのペンの標準設定です。ペンモードでは、先に画面上でポインタを確認してデスクトップ上で動かさなくても、ポインタの位置を決められます。マウスモードもご覧ください。

ピクセル：画面上の最小の表示単位。

筆圧対応：筆圧の荷重を読み取るペン先と消しゴムの特性。これは、筆圧対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

筆圧対応ソフトウェア：筆圧をサポートするソフトウェア。

読取可能高さ：電子ペンが検出される本機の操作エリアからの高さ。電子ペンの機能もご覧ください。

ラジアルメニュー：円型の階層メニュー。各階層のメニューは 8 つの項目から構成され、オプション機能を設定できます。メニューを表示するために、電子ペンやファンクションキーに機能を割り当てる必要があります。

画面のポインタ：画面のポインタ。ポインタは、起動しているソフトウェアにより、I 型ポインタ、矢印、あるいはボックスなど様々な形に変わります。

Tablet PC 入力パネル：Microsoft Windows Tablet PC 入力パネルで、電子ペンを使って手書きメモを作成したり、画面上のキーボードを使って文字入力を行うことができます。手書き文字が、入力パネルでテキストに変換されます。Tablet PC 入力パネルから入力した文字を文書や表計算、イラストに挿入できます。

傾き検出：入力デバイスが傾く角度を読み取るペン先とテールスイッチ（消しゴム）の特性。これは、傾き検出対応のソフトウェアで、ペン、ブラシ、消しゴムの自然な感じのストロークを作成するのに使用されます。

USB：Universal Serial Bus。コンピュータの周辺装置を接続するためのハードウェアインタフェース規格。USB ポートはホットプラグをサポートし、これにより、コンピュータの電源を切らなくても USB デバイスの取り外しができます。

Wintab：タブレットの情報を受け取る Windows ソフトウェアによって使用されるインタフェース規格。本機は、Windows 環境で Wintab と互換性のあるソフトウェアをすべてサポートします。

索引

FAQ（よくあるご質問と回答） 69
Mac での問題のトラブルシューティング 66
Windows でのデジタルインク機能 79
Windows での問題のトラブルシューティング 65
アクセサリ
　注文情報 82
アンインストール 74
一般的な問題 59
一般的な問題のトラブルシューティング 61
インストール
　ドライバ 13
液晶タブレット
　利き手の設定 19
液晶ペンタブレット
　調整 33
　機能のカスタマイズ 32
　セットアップ 9
エキスパート設定をインポートする 78
オートアジャスト 25
お手入れ
　液晶タブレット 71
　スタンド 71
　電子ペン 71
お手入れのしかた 71
オプションの電子ペン 34
オプション品の注文 82
カスタマイズ 28
　液晶ペンタブレットの機能 32
　傾き検出 38
　消しゴムの感触 36
　電子ペン 34
　入力デバイスのボタン 37
　ファンクションキー 39
　ラジアルメニュー 48
　リングキーおよびホームボタン 40
傾き
　検出のカスタマイズ 38
　描画する 23
利き手に合わせて設定する 19
消しゴムの感触のカスタマイズ 36
消しゴムの筆圧の詳細設定 36
コントロールパネル
　概要 30
　設定の管理 29
　タブ 32
　開く 29
　リスト 32
サイドスイッチの使い方 22
作業環境のセットアップ 17
システム要件 9
姿勢と作業環境を整える 17
仕様
　製品 80
省電力機能 27
新規入力デバイスの追加 52
スタンド
　角度調整
　　角度調整 8
製品仕様 80
設定
　削除 52
　特定のソフトウェアおよび入力デバイスに対する変更 52
設定とエクスプレスビュー 29
セットアップ 9
操作のテスト 56
ソフトウェア
　更新 68
ダブルクリックの調整 35
タブレットコントロールに統合されたソフトウェア 77
タブレット設定ファイルの管理 75
タブレットリストでタブレットの名前を変更する 53
ペン先の調整 33
使い方
　電子ペン 19
　ファンクションキー、リングキー、ホームボタン 24
テクニカルサポート 68
テスト
　操作 56
　電子ペン 57
　入力デバイス 56
　ファンクションキー、リングキー、ホームボタン 57
　本機 55

電子ペン 16
 カスタマイズ 34
 傾きで描画する 23
 クリック 21
 消しゴム 16
 消す 23
 サイドスイッチ 16
 使い方 19
 テスト 57
 手に持つ 20
 ドラッグ 22
 筆圧を使って描画する 22
 ペン先 16
 ポインタの位置決め 21
電子ペンのクリック 21
電子ペンのドラッグ 22
特定のソフトウェアに対する設定
 削除 52
 作成 51
 設定の変更 52
 使い方 50
ドライバ
 インストール 13
トラブルシューティング 54, 59
 Mac での問題 66
 Windows での問題 65
 一般的な問題 61
 操作のテスト 56
 タブレット部 61
 操作のテスト 56
入力デバイスの新規追加 52
入力デバイスのテスト 56
入力デバイスのボタンのカスタマイズ 37
パーツ
 注文情報 82
ハードウェアのインストール 10
筆圧を使って描画する 22
標準設定 25
ファンクションキー
 使い方 24
複数の入力デバイスで使う 52
複数ペンタブレットの設置 76
ペン
 サイドスイッチの使い方 22
ペン先の感触の調整 35
ペン先の調整 33
ペン先の筆圧の詳細設定 36
ペン芯
 ペン芯の交換 72
ペン芯の交換 72
ホームボタン 24, 40
ポインタの位置決め 21
ボタン機能 41
本機
 アンインストール 74
 インストール
  ハードウェア 10
 置き場所 8
 お手入れ 71
 概要 9
 角度調整 8
 カスタマイズ 28
 機能 14
 コントロールパネルの概要 30
 使用する 17
 セットアップ 9
 ディスプレイの調整 25
 テスト 55
 電子ペンの機能 16
 ドライバのインストール 13
 トラブルシューティング 54
 本機について 9
 本体正面 15
本機の本体正面 15
本書について 5
マッピング画面切り替えを使う 49
マルチディスプレイ環境で使用する 25
ユーザー設定 25
用語 83
ラジアルメニュー
 カスタマイズ 48
 使い方 48
リングキー 24
ワコムディスプレイ設定 25
ユーザー設定 25

WACOM INTERNATIONAL OFFICES

WACOM TECHNOLOGY CORPORATION

1311 SE Cardinal Court
Vancouver, WA 98683
U.S.A.
Telephone: +1.360.896.9833
Fax: +1.360.896.9724

WACOM EUROPE GMBH

Europark Fichtenhain A9
47807 Krefeld
Germany
Internet: http://www.wacom.eu

株式会社ワコム
タブレット営業本部

〒 160-6131
東京都新宿区西新宿 8-17-1
住友不動産新宿グランドタワー 31 階
URL：http://wacom.jp

WACOM CO., LTD.
ASIA PACIFIC DIVISION

Sumitomo Fudosan Shinjuku Grand Tower 31F
8-17-1 Nishi-Shinjuku, Shinjuku-ku
Tokyo 160-6131,
Japan
Telephone: +81.3.5337.6709
Fax: +81.3.5337.6514

WACOM CHINA CORPORATION

1103, Beijing IFC West Tower
No. 8 Jianguomenwai Street
Chaoyang District, Beijing, 100022
China
Internet: http://www.wacom.com.cn

WACOM KOREA CO., LTD.

#1211, 12F, KGIT Sangam Center,
1601 Sangam-dong, Mapo-gu, Seoul 121-913, Korea
Telephone: +82.2.557.3894
Fax: +82.2.557.3895

WACOM AUSTRALIA PTY. LTD.

Unit 8, Stage 1 Cumberland Green
2-8 South Street Rydalmere
NSW 2116 Australia
Telephone: +61.2.9422.6700
Fax: +61.2.9420.2272

WACOM SINGAPORE PTE. LTD.

5 Temasek Boulevard
#12-09 Suntec Tower Five
Singapore 038985
Telephone: +65.6258.8640
Fax: +65.6258.8697

WACOM TAIWAN INFORMATION CO., LTD.

9F-1, No.237 Songjiang Road
Zhongshan Dist.
Taipei 104 Taiwan
Telephone: +886.2.25161718
Fax: +886.2.25165100

WACOM HONG KONG LIMITED

Room 1201, Tai Tung Building
8 Fleming Road
Wanchai, Hong Kong
Telephone: +852.25739322
Fax: +852.25739500

WACOM INDIA PVT. LTD.

2nd Floor, Elegance Tower
District Centre, Mathura Road
New Delhi 110025, India
Telephone: +91.11.40601200
Fax: +91.11.40601235

このページを印刷してご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください)。太枠内を記入してください。

◌ **お問い合わせ**

◌ **修理依頼**

FAX 送付先 ：03-5337-6514

受付　No.

発信	年　月　日

お客さま	フリガナ		会社名（学校名）・所属部署	
	氏名			
	使用場所	会社（学校）・自宅	連絡先	会社（学校）・自宅
	住所	〒　※ 修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail：		
	TEL	（　）	FAX	（　）

タブレット	型式		DTK-1300	シリアル番号	
	タブレットドライバ		バージョン：		
	購入年月日		年　月　日		
使用環境	使用コンピューター		メーカー：	機種名：	
				使用 OS	（バージョン：　）
	使用ソフトウェア		（バージョン：　）		
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
		グラフィックボード			
		その他			
内容	現象発生日		年　月　日		
	現象発生頻度		常時・ときどき（システム起動時・使用中・その他：　）		

ここに記入されたお客さまの個人情報は、お客さまへのサポート、および修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。